

OPTIMUS GROUP

2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

Stock Code : 9268

Nov 25th, 2024



agenda

1. コーポレートハイライト p.3
2. 25/3期 第2四半期 全社実績 p.23
3. 25/3期 通期業績予想の下方修正 p.33
4. 中期経営計画（26/3期以降は変更なし） p.40
5. 25/3期 第2四半期 セグメント別実績 p.46
6. Appendix p.54

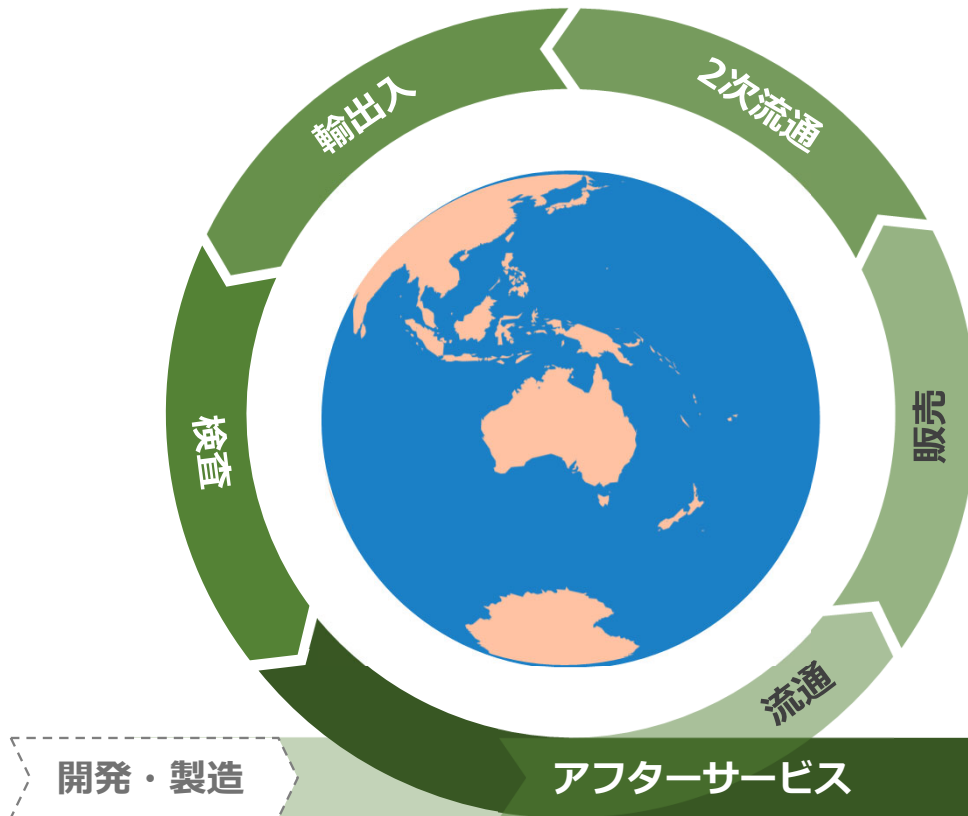




1 コーポレートハイライト

コーポレートハイライト

オプティマスグループとは



自動車の
ライフサイクルに寄り添う
“クロスボーダー・カンパニー”



自動車は、製造されて以降のライフサイクルが長い

自動車に関する様々なサービスを提供（開発・製造除く）

ボードメンバーより皆様へ



代表取締役社長
山中 信哉

いつも、多大なるご支援を誠にありがとうございます。

1989年に日本からニュージーランドへの中古車輸出に参入して以来、検査、物流、サービス、小売・卸売などを含めた独自のバリューチェーンを構築し、当社グループは同国中古車業界のトップ企業に成長することが出来ました。



取締役
**Robert
Andrew Young**

輸出入セグメント管掌
サービスセグメント管掌



取締役
**Martin Fraser
McCullough**

物流セグメント管掌



取締役
John Startari

小売卸売セグメント管掌



取締役
岩岡 廣明

管理部門管掌/CFO

近年は、更に市場規模の大きいオーストラリアにも進出し、新車販売から陸上輸送、データサービス、Webでの中古車個人間取引などに事業領域も広げ、自動車のライフサイクル全体に寄り添う「クロスボーダー・カンパニー」として、新たな企業価値の創造に努めております。

今後とも、世界のお客様のカーライフに最善の貢献を図るべく、社員一同が誠意と情熱をもって、新しい価値や商品・サービスの創造に挑戦を続けてまいります。

皆さま方の一層のお力添えを、心よりお願い申し上げます。

コーポレートヒストリー



1988年創業、**M&A**を駆使しつつ、**オセアニア2カ国**を主力に業容拡大

1989年～

2015年～

2023年～

ニュージーランド基盤構築

資金調達手段確立



コーポレート

1988年4月 創業

2015年1月 オプティマスグループ設立
2017年12月 株式上場

2024年5-7月 公募増資(約71億円をエクイティ調達)



ニュージーランド

1989年5月 中古車輸出事業を本格開始
1998年1月 物流事業を開始
2001年9月 検査事業を開始
2013年2月 当時ニュージーランド証券取引所上場だった
Vehicle Inspection New ZealandをTOB
により株式を**100%取得**
2015年3月 サービス事業を開始

2023年12月 自動車取引のオンライン広告サイト運営の
Auto Trader Mediaの株式**51.0%取得**



オーストラリア

2014年7月 オーストラリア事業開始

2019年11月 中古自動車ディーラーのOzCarと
資本業務提携(株式**10%取得**)
21/5に**20%**、21/11に**30%に買い増し**

2022年1月 自動車関連データサービス提供企業の
Blue Flagの株式**40%取得**
22/11に**60%まで買い増し**

オーストラリア急拡大

2023年6月 輸入中古自動車の小売販売会社(30%持分)
2023年6月 中古自動車の卸売販売会社(30%持分)
を相次ぎ設立(小売/卸売は現地企業との合併)

2023年11月 同国第3位の新車ディーラーグループ
Autopactの株式**91.7%取得(現在は99.9%)**

2024年5月 同国全域で総合自動車物流事業を手掛ける
Autocare Servicesの株式**100%取得**

主要マーケットと日本の違い(1/2)

自動車の供給を**100%輸入**に頼る、右ハンドルの**オセアニア**で確たる地位を築く

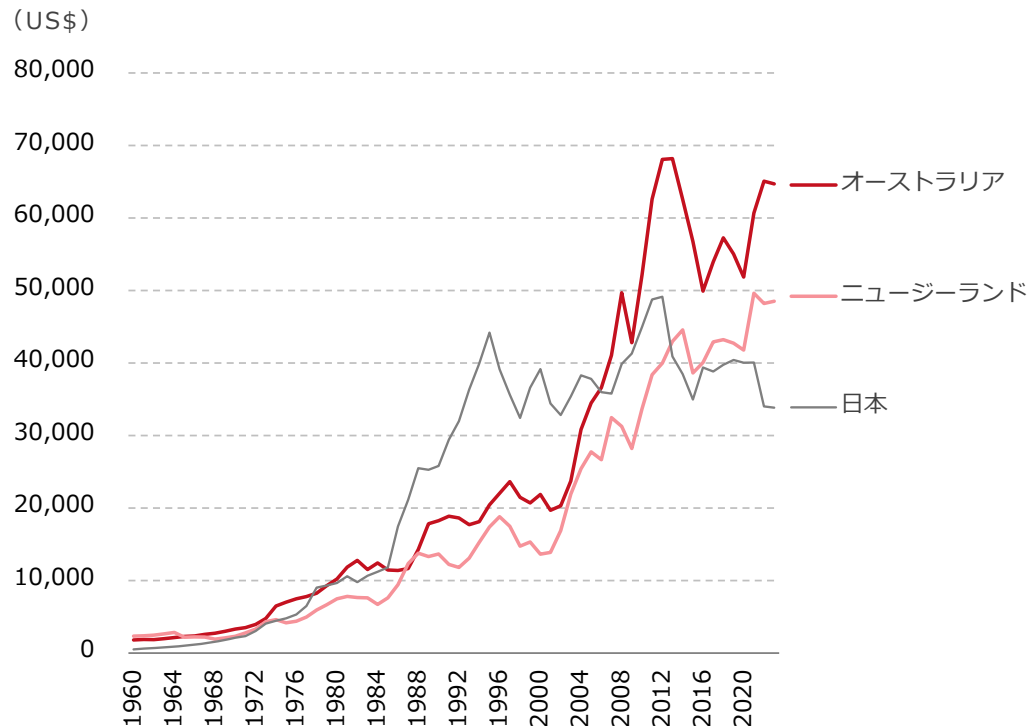
	人口	自動車保有台数	自動車普及率	市場特性	当社グループ実績
 日本	 124.5百万人	 78,453千台	 0.63台/人	—	国内販売はなし 全国のオークション 会場で中古車を仕入
 オーストラリア	 26.6百万人	 19,041千台	 0.71台/人	新車が ほぼ100% (輸入時)	同国シェア第3位の新車 ディーラー(Autopact)と 第2位の自動車物流会社 (Autocare)を抱える
 ニュージーランド	 5.2百万人	 4,310千台	 0.83台/人	新車：中古車 50：50 (輸入時)	輸入中古車市場で同国 トップシェア46.8% (24/3期実績)を確保

注：各国人口はWorld Bank Open Data（2023年）を参照した。各国の自動車保有台数は一般社団法人 日本自動車工業会が集計・開示している2021年末の四輪車保有台数等を参照した、自動車普及率はこの2指標を除算し算出している。

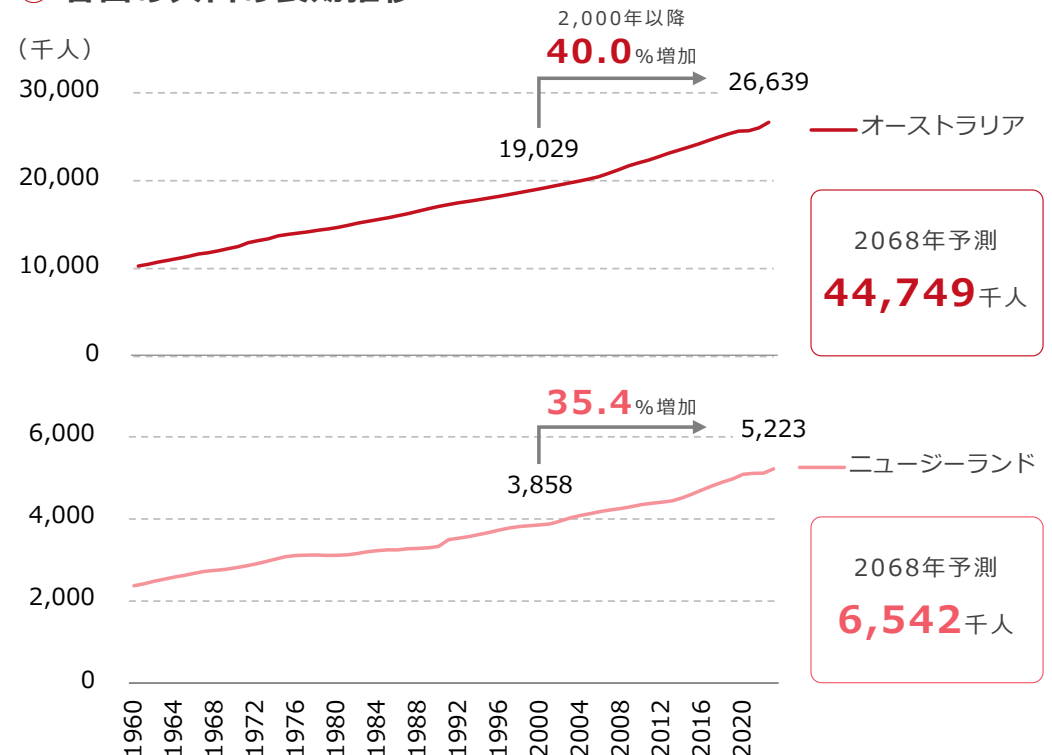
主要マーケットと日本の違い（2/2）

1人当たりGDP/人口が頭打ちの日本と異なり、オセアニア2カ国は**成長を継続**

○ 各国の1人当たりGDPの長期推移



○ 各国の人口の長期推移



注：各国データは、World Bank Open Data（2023年）を参照した。人口予測は、オーストラリアがAustralian Bureau of Statistics、ニュージーランドがNew Zealand Government「Stats NZ」を参照（中位推定優先）した。

クロスボーダー取引を起点に、様々なサービスをマーケットに応じて提供

オーストラリア

各国で
製造された新車



海上輸送

- 通関
- 陸送 港→保管場所
 - 車検向け整備
 - 輸入検査
 - 陸送 保管場所→ディーラー

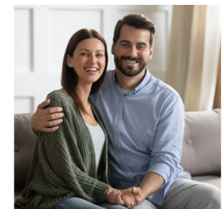
現地中心のバリューチェーン

ディーラー



販売/サービス

ユーザー



買替え相談
中古車買取

データサービス

ニュージーランド

日本各地の中古車



- 仕入 全国のオークション会場
- 陸送 会場→港
 - 清掃・整備
 - 検査・検疫

海上輸送

- 通関
- 車検向け整備
 - 輸入検査
 - 陸送 港→ディーラー

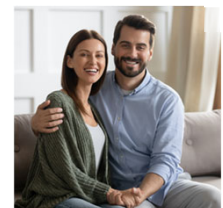
日本から現地までを通じたバリューチェーン

ディーラー（顧客）



販売/サービス

ユーザー



買替え相談

総合コンサルティング

CtoC
取引仲介

競争優位性 | オーストラリア (1/2)

自動車領域で個性が際立つ事業会社を複数保有

Autopact

同国シェア第3位の新車ディーラーグループ

2023年11月に買収（当初91.7%→現在99.9%保有）

計110拠点を展開する 28のディーラーが集ったグループ

クイーンズランド州/ニューサウスウェールズ州/ビクトリア州といった**オーストラリア東部**で事業展開

更なるディーラーの買収（ロールアップ）が成長戦略

ディーラー数



多様なソリューションを提供

- ・新車販売
- ・中古車販売
- ・オートローン、保険
- ・部品/カーアクセサリ販売
- ・サービス（点検/整備/修理等）

35のメジャーOEMブランドを取り扱う



Autocare

同国シェア第2位の自動車物流カンパニー

2024年5月に買収（株式100%保有）

マーケットシェアは3割強を確保

広大なオーストラリアの国土全てをカバーする自動車物流企業

240台以上のトレーラー係

主要な港全てに拠点あり



主要取引企業

日系主要OEMメーカー他

OzCar

中古車販売の大手企業として多店舗展開

2019年11月より段階的に出資比率を引き上げ（株式30%保有）

22のディーラーシップで展開、常時3,000台以上の中古車を取り扱う

WHAT IS YOUR CAR WORTH?

JUST FILL IN YOUR REGO DETAILS
&
YOU'LL RECEIVE AN INSTANT SMS
WITH YOUR TRADE IN PRICE.



競争優位性 | オーストラリア (2/2)



各社の得意領域を掛け合わせ、より強固な競争優位性を確立中

項目	ソリューション											展開地域		ブランド
	① 埠頭→ 倉庫へ輸送	② 倉庫 での保管	③ 車両整備 /登録他	④ 倉庫→ 小売へ輸送	⑤ 新車販売	⑥ 保険/オート ローン	⑦ 部品販売	⑧ 車検 /修理他	⑨ 中古車 買取	⑩ 中古車 修理	⑪ 中古車 販売	東部	西部	-
Autocare	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎	日系主要OEM メーカー他
Autopact	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	-	35のメジャー OEMブランド
OzCar	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	-	多くのブランド (中古車)

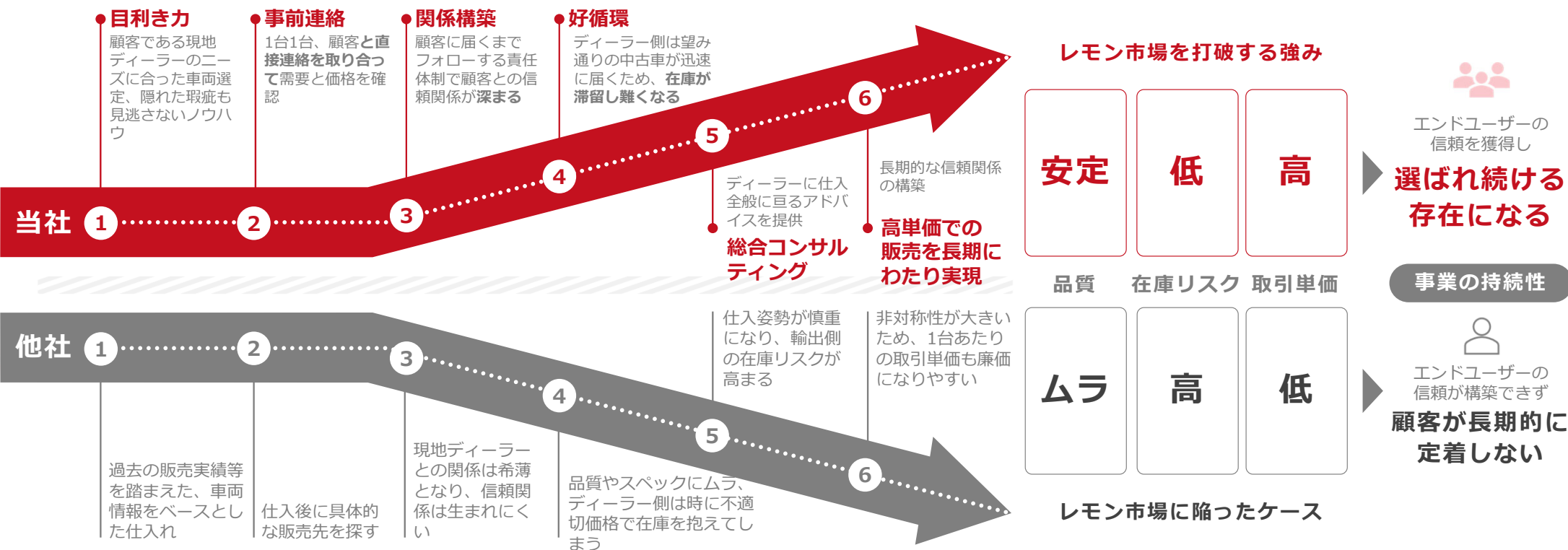
その他、当グループ設立会社や持分法適用会社、現地企業と設立した合併会社等にて、
「自動車関連データサービス提供」や「輸入及び国内自動車検査」など、多数のサービスを展開している。

競争優位性 | ニュージーランド (1/2)



顧客の**長期的な信頼**を獲得する、**独自の事業フロー**（バリューチェーン）

○ 顧客のニーズに合った高品質な中古車を迅速に提供する（日質）



競争優位性 | ニュージーランド（2/2）

各ソリューションでの強みを掛け合わせ、**トップシェア**を確保

輸出入

信頼関係構築で現地の有力ディーラー
200社と継続取引

物流

日本-ニュージーランド輸送量の
スケールメリットを活かした
柔軟性・高収益性を確保

検査

100を超える輸出入時の
必須検査項目に対応
特許を有するヒートトリートメントによる
害虫混入防止処理

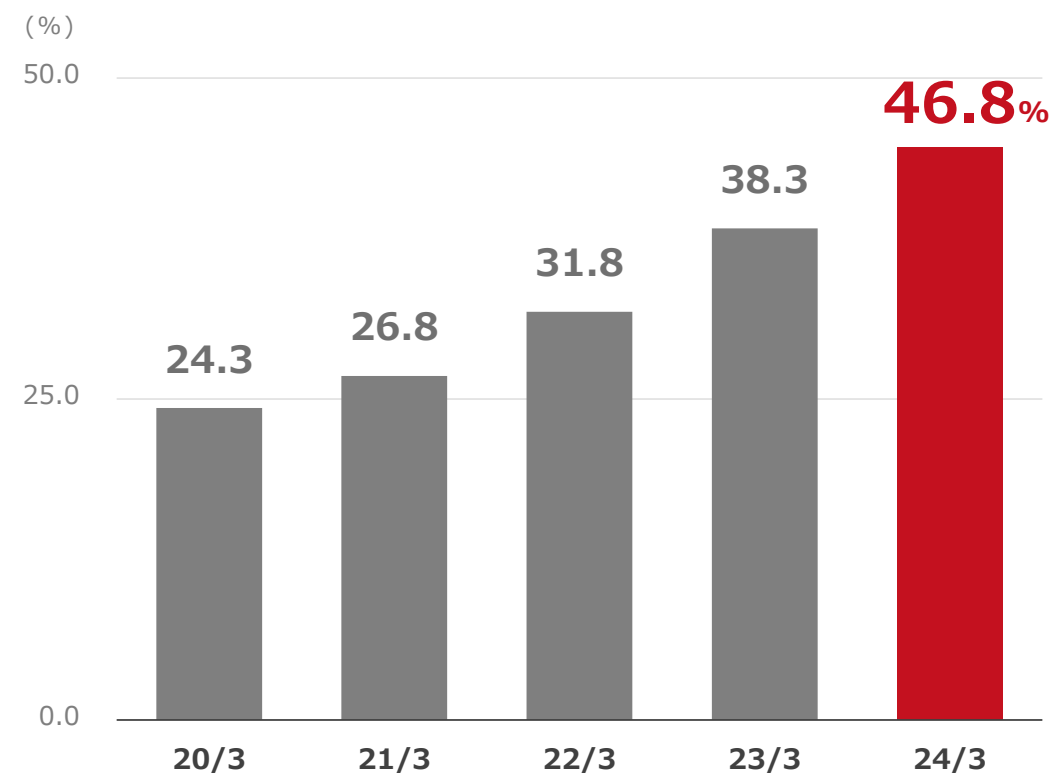
サービス

金融サービスからデータ提供まで
様々なニーズに対応

CtoC取引

市中取引の約7割を占めるオンライン中古車売買で
シェア第2位の取引ウェブサイトを運営
(Auto Trader Media Group)

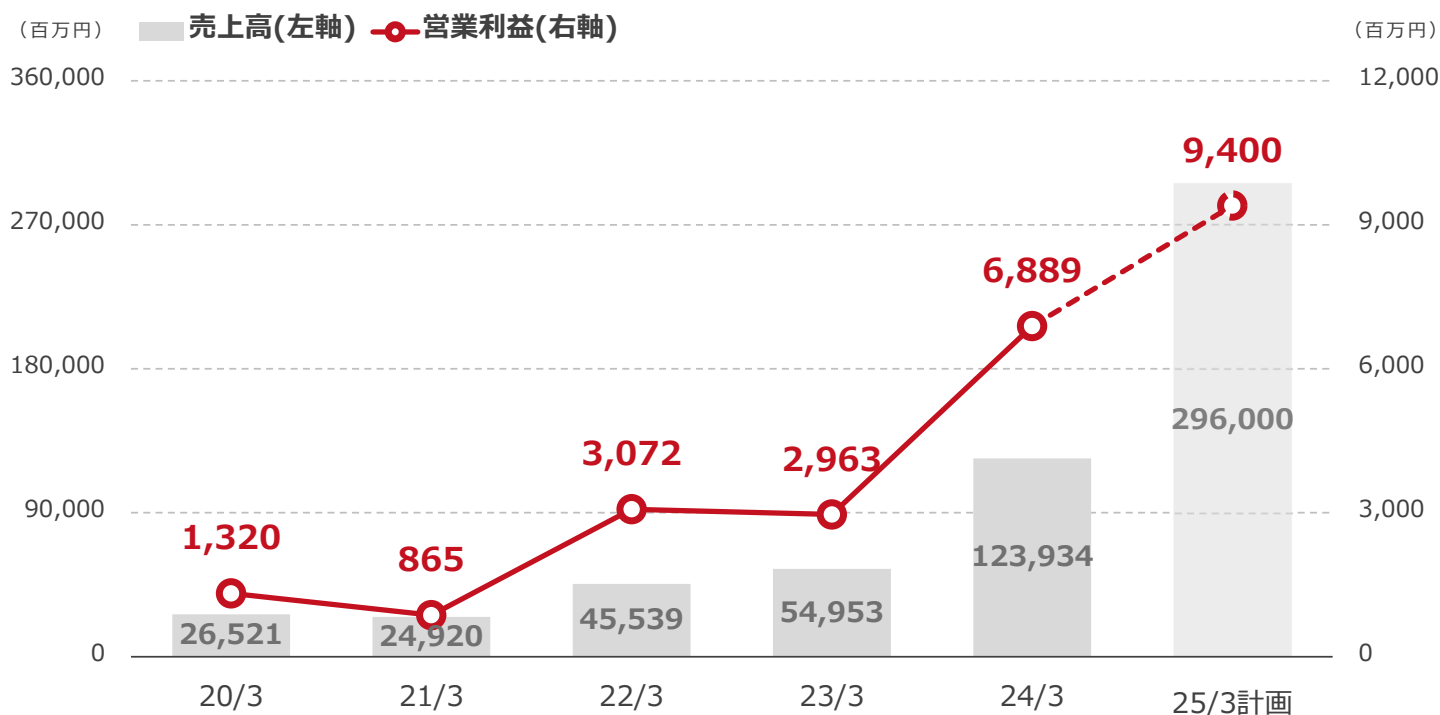
○ 輸入中古車市場における当社マーケットシェアの推移



注：ニュージーランド「自動車産業強化（MIA）」資料をもとに当社の輸入中古車「におけるシェアを算出し作成した。

財務ハイライト（1/2）

オーストラリアの**M&A効果**と、ニュージーランドの**オーガニック成長**で収益拡大



売上高CAGR*

47.0%

営業利益CAGR*

51.2%

24/3期以降のM&A実績

3件

- AUTOPACT PTY LTD
- Auto Trader Media Group Ltd.
- Autocare Services Pty Ltd

注：売上高及び営業利益のCAGRは、20/3期～24/3期までの4カ年CAGRを算出・表記している。営業利益率は24/3期通期実績を参照している。

財務ハイライト（2/2）

シクリカル要因で業績軟調、25/3期計画は下方修正、中期では**持続的収益拡大**を図る

○ 25/3期以降の収益サマリー

項目 (百万円)	25/3期 上期			25/3期 通期			26/3期 中計		27/3期 中計	
	期初計画	実績	計画比	期初計画	修正計画	修正率	中計目標	修正率	中計目標	修正率
売上高	148,971	135,259	△9.2%	307,000	296,000	△3.6%	309,000	変更なし	329,000	変更なし
営業利益	5,070	3,964	△21.8%	10,300	9,400	△8.7%	12,600	変更なし	14,000	変更なし
親会社株主利益	1,702	522	△69.3%	4,500	3,000	△33.3%	6,750	変更なし	7,500	変更なし

- 25/3期上期はニュージーランドの政権交代等の外部環境変化により中古車輸出が落ち込み、各段階収益ともに期初計画を下回った。また、収益性の高いニュージーランド向けのボリュームが落ち込んだことで、計画以上に連結ベースの収益性が低下した。
- 市況は下半期に反転・回復し始めると見込むが、通期計画は下方修正した。
- 一方、26/3期以降の業績インパクトは限定的である為、2024年4月公表の中期経営計画の目標値は据え置く。ニュージーランドの市況回復に加え、近年急拡大したオーストラリアでの子会社の成長とシナジー創出が全社業績の成長を牽引する。

注：25/3期上期の期初計画値は従来非開示だったが、未達状況を可視化するため表記した。25/3期の期初計画における為替前提は1AUD=97.0円、1NZD=90.0円だったが、実績は1AUD=101.43円、1NZD=92.87円だった。実勢を踏まえ、25/3期下期は1AUD=101.0円、1NZD=91.0円に為替前提を見直している。また、26/3および27/3期は1AUD=97.0円、1NZD=90.0円を前提とした計画値である。なお、26/3期以降は国際会計基準（IFRS）を適用予定である。

現中期経営計画での成長戦略（1/5）

オーストラリアの**各社独自成長**と**シナジー創出**で全社業績を牽引

○ 地域別の成長戦略サマリー



ニュージーランド

中古車輸出でトップシェアを
堅持しつつ、市中取引の約7割を
占めるCtoC領域への投資を加速

安定成長 + 領域拡大



UK + 欧州右ハンドル国

アイルランドや
欧州をはじめとしたその他地域
への展開を本格化する

次の成長ドライバーへ



オーストラリア

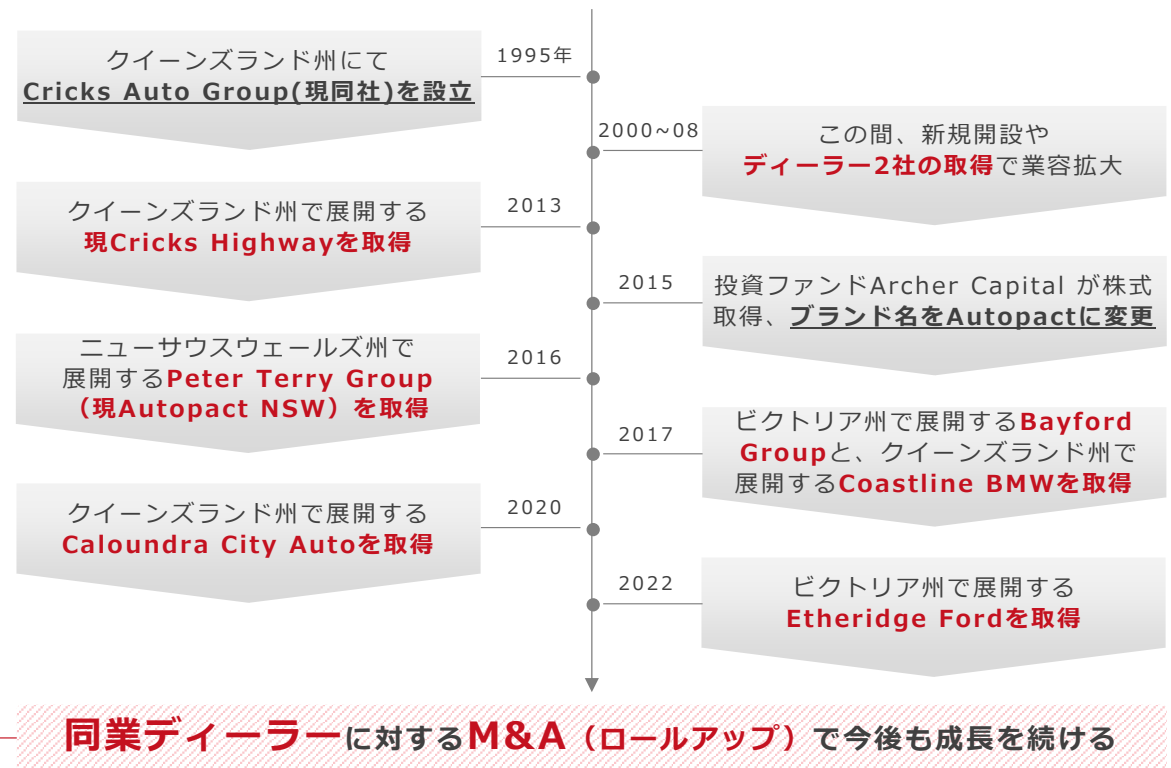
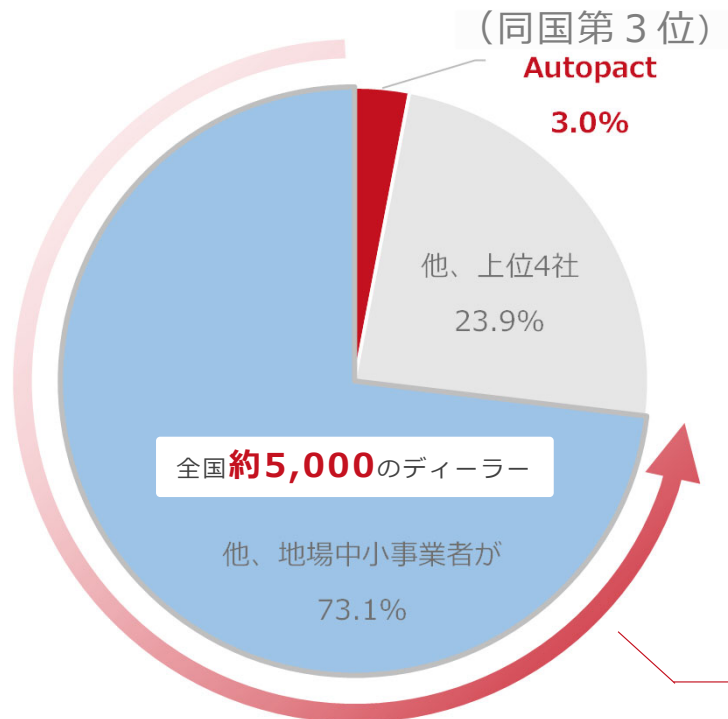
各社で**独自成長**を図ると共に、
各社間**シナジーの創出**を通じて、
市場での存在感を更に高める

全社の収益成長を牽引

現中期経営計画での成長戦略（2/5）

オーストラリア市場の **7 割超は中小事業者**、大きな **商圈拡大** のポテンシャル

○ Autopactのシェア*と、これまでの成長の変遷



注：Autopact沿革は一部抜粋して表記している。マーケットシェアはIBIS World推計値（新車及び中古車の各社推定売上高）をもとに作成した。

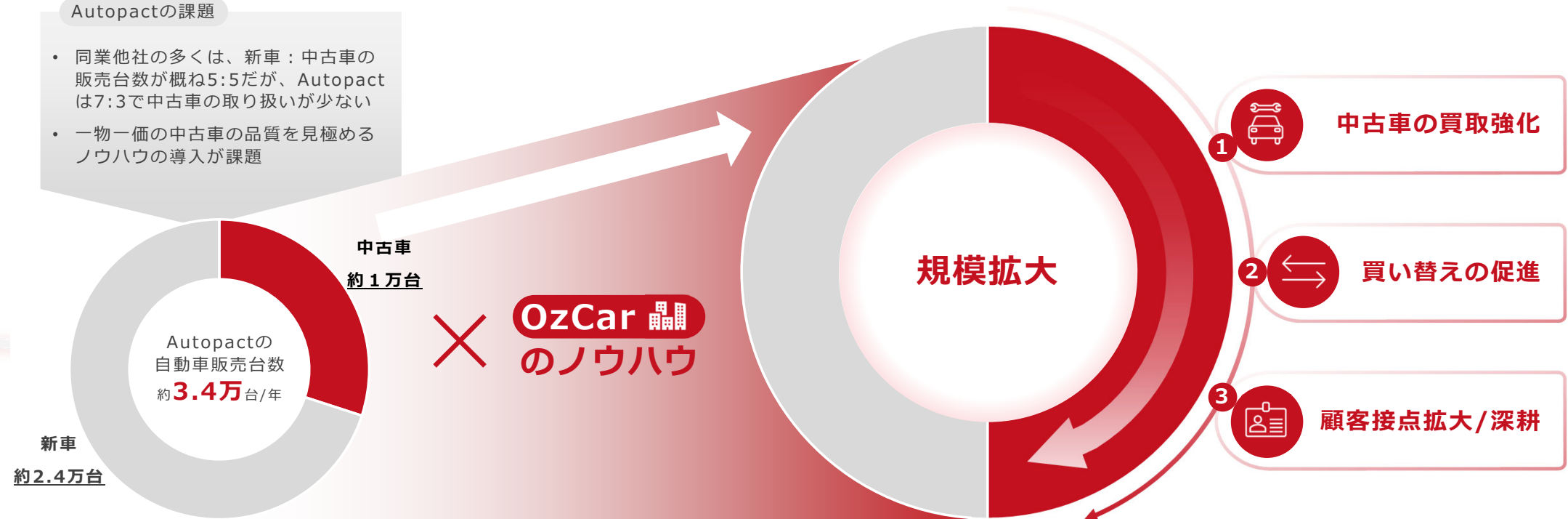
現中期経営計画での成長戦略（3/5）

Autopactに**OzCarの中古車ノウハウ**を掛け合わせ、規模拡大を図る

○ Autopact × OzCarのシナジー創出（イメージ）

Autopactの課題

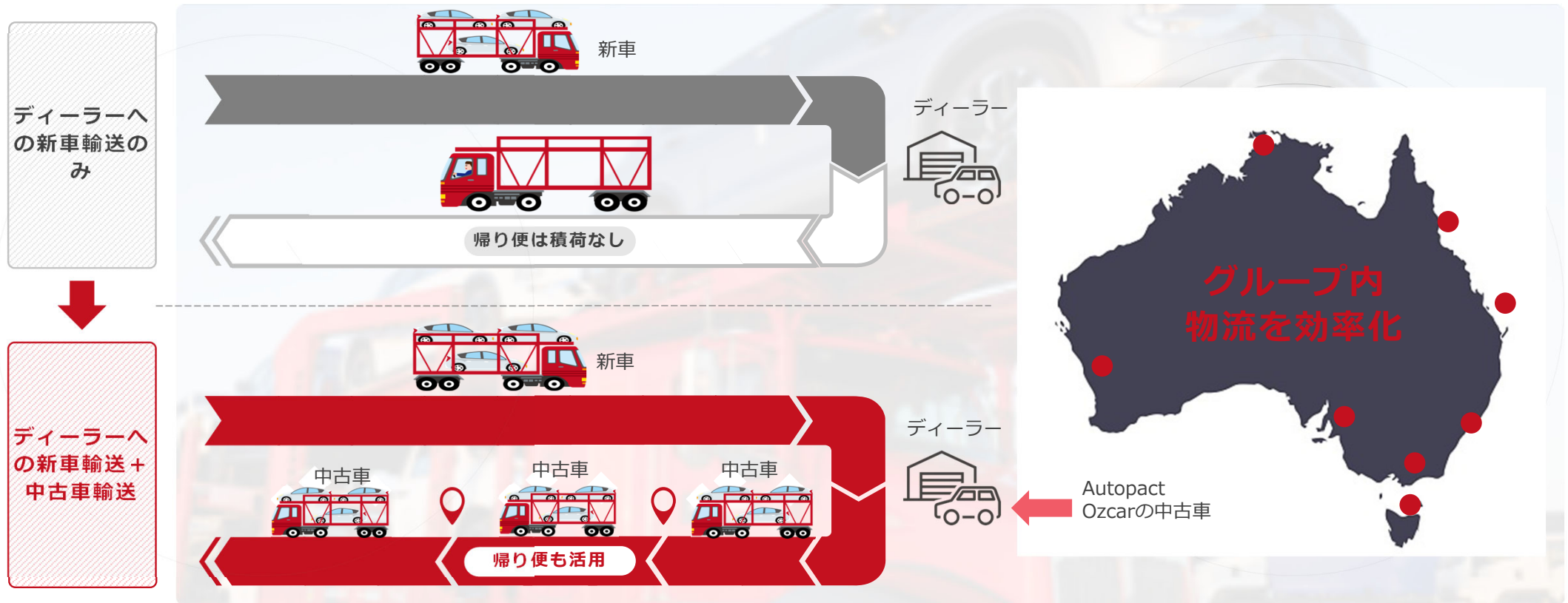
- 同業他社の多くは、新車：中古車の販売台数が概ね5:5だが、Autopactは7:3で中古車の取り扱いが少ない
- 一物一価の中古車の品質を見極めるノウハウの導入が課題



現中期経営計画での成長戦略（4/5）

Autocareの新車輸送の帰り便を活用、**グループ内物流の効率化**を図る

○ Autocare × Autopact × OzCarのシナジー創出（イメージ）



現中期経営計画での成長戦略（5/5）

電動化や中国OEM等、新しいマーケットニーズへの対応を強化

電動化：



オーストラリアでのEV/ハイブリッド新車販売

Autopactは、日米欧等の有力OEMブランドが製造するEVやハイブリッドの新車を販売中。

ニュージーランドへのEV/ハイブリッド中古車の輸出・販売

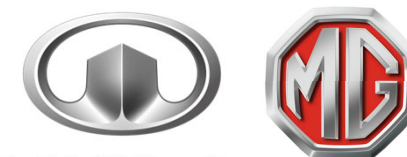
日貿では、ニュージーランド向けに高品質なEVやハイブリッド車の中古車を多数取り扱い中。また、JEVICは輸送前にEVのバッテリーを診断し、安全・安心な輸送のための診断サービスを提供中。

中国OEMブランド：

オーストラリアでの中国OEM新車販売

Autopactは、Great Wall等の中国ブランドも複数取り扱い中。

※ニュージーランドでは、中国が右側通行・左ハンドル国である事もあり、現状では輸入中古車はほぼ全量が日本から輸入されている状況。



长城汽车
Great Wall Motors

経営理念

正しく公平な経営により、最善の貢献を図る

グループ ビジョン

- ・ 楽しく安全な移動手段と、一人一人に最適なサービスを提供する事業を究める
- ・ 新しい価値や革新的なサービスを創り出し、未来に向かって事業を拓く
- ・ すべてのステークホルダーと自然との共栄を図り、世界人としてグローバル社会の発展に貢献する

株価動向と株主状況

Autopact買収発表後に急上昇も、**足元株価は発表前水準に**

○ 株価の推移



注：大株主の状況の所有株式数の割合は、自己株式を除く発行済み株式数をもとに算出している。

No.	所有者属性別の状況	所有株式数の割合
1.	金融機関	0.326%
2.	金融商品取引業者	4.328%
3.	その他の法人	5.652%
4.	外国法人等（個人以外）	2.250%
5.	外国法人等（個人）	22.733%
6.	個人その他	64.707%

No.	氏名又は名称	所有株式数の割合*
1.	山中 信哉	18.06%
2.	ロバート・アンドリュース・ヤング	12.30%
3.	マーティン・フレイザー・マッカラック	12.30%
4.	光通信株式会社	3.70%
5.	松井証券株式会社	2.46%

※2024年9月末時点



2

25/3期 第2四半期 全社業績

サマリー



1. 前期のAutopact、5月のAutocareのM&A効果により、前年同期比では上期に大幅増収増益を確保した。
2. 一方、2023年10月のニュージーランド政権交代によるマクロ環境の軟化や政策変化の影響が顕在化し、上期計画は未達となった。また、ニュージーランド向けの輸出台数が前年同期比・上期計画比ともに約4割落ち込んだことで、全社業績の重しとなった。
3. 足元、収益のほとんどをオーストラリア関連事業が占める収益構成比となっている。短期的には同事業で着実に収益を確保しつつ、ニュージーランド関連事業の回復を待つ展開となる。
4. 業務急拡大へ対応すべく、コーポレート機能の強化に向けた将来への先行投資を行っている。

上半期 | 全社業績及び主要指標の計画と実績

M&A効果から前年同期比で大幅増収増益も上期計画は未達
マクロ影響でニュージーランド向け輸出台数が計画比約35%減、全社業績を押し下げる

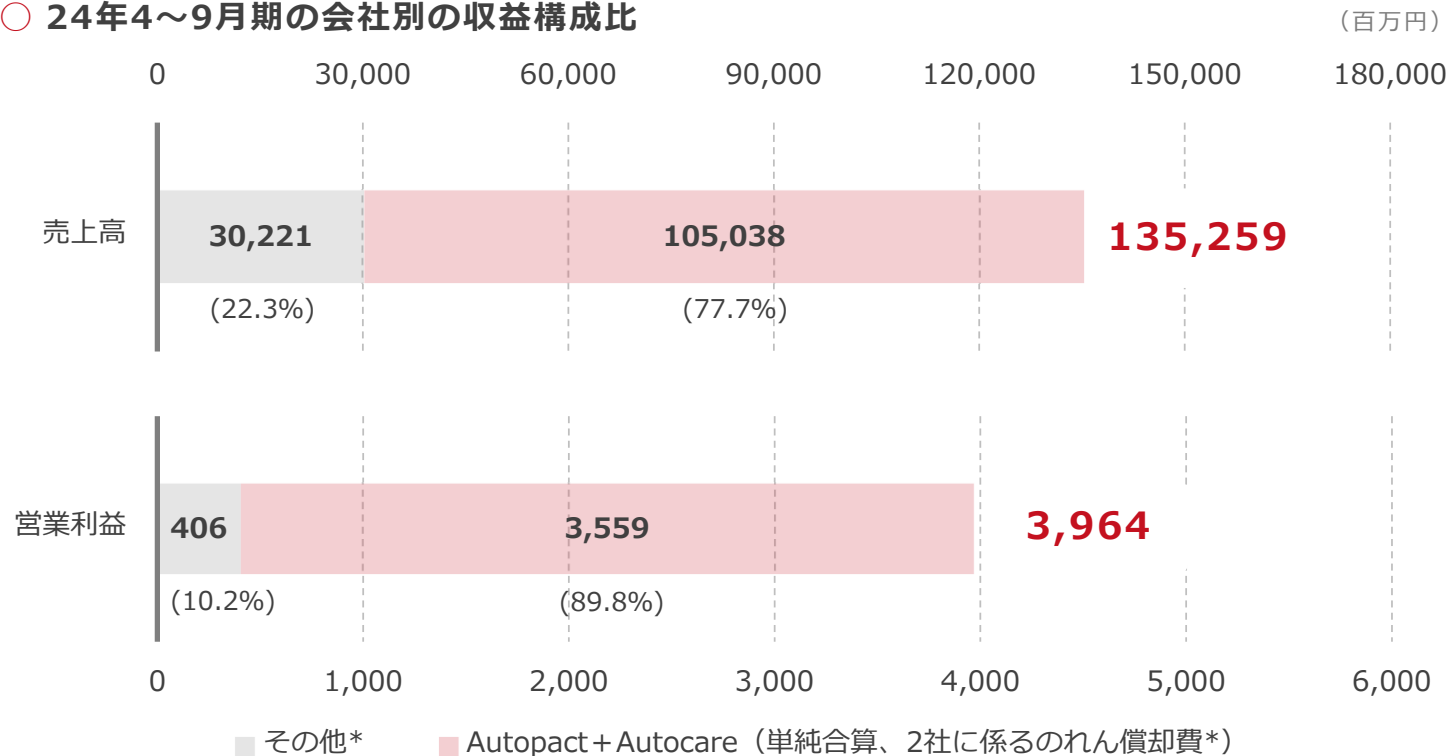
項目 (百万円,台)		23/3期	24/3期	25/3期					
		上期実績	上期実績	上期計画	前年同期比	上期実績	前年同期比	上期計画差	上期計画比
全社業績	売上高	27,604	38,782	148,971	+ 284.1%	135,259	+ 248.8%	△13,712	△9.2%
	営業利益	1,412	2,796	5,070	+ 81.4%	3,964	+ 41.8%	△1,106	△21.8%
	営業利益率	5.1%	7.2%	3.4%	△3.8ppt	2.9%	△4.3%	△0.5ppt	△0.5ppt
	親会社株主利益	955	1,467	1,702	+ 16.0%	522	△64.4%	△1,180	△69.3%
主要指標	AU 販売台数 (Autopact新車)	-	-	12,501	-	12,151	-	△350	△2.8%
	AU 輸送台数 (Autocare)	-	-	354,378	-	383,015	-	28,637	8.1%
	輸出台数	21,647	35,357	36,205	+ 2.4%	19,715	△44.2%	△16,490	△45.5%
	ニュージーランド	18,123	31,279	27,205	△13.0%	17,817	△43.0%	△9,388	△34.5%

注：25/3期の上期計画値は従来開示していなかったが、大型M&Aの実施により前年同期比ではApple to Appleでの業績比較が困難なことから、参考値として事後的に開示している。

上半期 | 地域別の収益状況

M&A効果とニュージーランド向け輸出台数の減少から、
今期は**オーストラリア事業が相当程度を占める**収益構成比となった

○ 24年4～9月期の会社別の収益構成比



ポイント

- Autopactは24年1月、Autocareは24年5月からPLに取り込みを開始した。
- ニュージーランド事業の収益減の影響もあり、24年4～9月期はAutopactとAutocareの2社業績が全社売上高の**77.7%**、全社営業利益の**89.8%**を占める事となった。
※営業利益は2社合算にのれん償却費を減算。



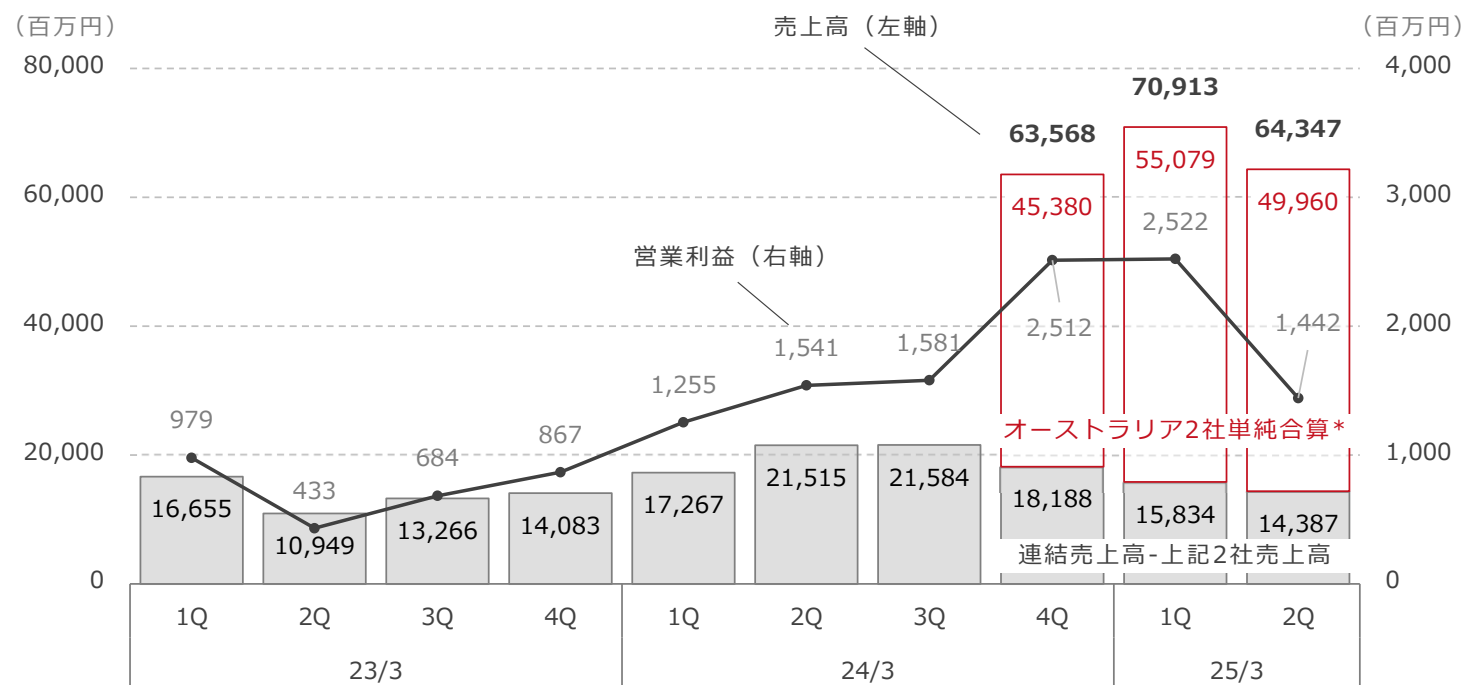
**今期はオーストラリア事業が
全社業績の相当程度を占める
収益構成比となった**

注：売上高・営業利益ともに、Autopact及びAutocareグループ単体の単純合算値と、その他収益（連結収益との逆算値）に2分し集計している。営業利益は、2社単純合算値に加え、2社に係るのれん償却費負担を減算処理した値を参照している。

第2四半期 | 売上高と営業利益の四半期推移

7～9月期は、M&A効果から売上高は前年同期比**3.0倍**だったが、営業利益は△**6.4%**
オーストラリア関連事業で着実に利益を積み上げるも、ニュージーランド向けの落ち込みが大

○ 売上高と営業利益の四半期推移



25年3月期7～9月業績

売上高 **643** 億円
(YoY**3.0**倍)

営業利益 **14.4** 億円
(YoY△**6.4**%)

営業利益率 **2.2** %
(YoY△**4.9**ppt)

- 売上高はM&A効果で大幅増収も、ニュージーランド関連事業は政権交代に端を発する環境変化から2桁減収と軟調だった。
- 営業利益は、オーストラリア関連事業で着実な積み上げを実現するも、ニュージーランド向け輸出台数減に伴う収益性悪化やのれん償却負担増等を背景に微減益だった。
- 上記に加え、M&Aで相対的に収益性の低い小売・卸売の構成比が上昇したため、前年同期比では営業利益率も低下した。

注：売上高は、Autopact及びAutocareグループ単体の売上高の単純合算値と、その他売上高（連結売上高との逆算値）に2分している。なお、Autocareの新規連結開始は2024年5月からである。

第2四半期 | KPIと市況統計の四半期推移

オーストラリア事業は市中の新車販売台数は減少したが、販売・輸送台数は前年同期比で微増、ニュージーランド向け輸出台数は△45.9%減、環境規制変化による市況影響が大

項目		24/3期				25/3期			コメント	
		(台,円)	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月		上半期前年同期比
オーストラリア	個社	AU 販売台数 (Autopact新車)	6,157	5,722	5,808	5,953	6,509	5,642	+2.3%	・ Autopactの4～9月期の販売台数は前年同期比2.3%増の12,151台、Autocare（自動車物流）の輸送台数は同2.0%増の約38.3万台だった。同期間、オーストラリア全体の自動車販売台数は同1.2%と微増。前年同期比で見ると為替はやや円安方向で、円貨換算業績に対してポジティブに寄与した。
		AU 輸送台数 (Autocare)	168,500	206,976	203,346	196,465	205,733	177,282	+2.0%	
		AU 保管台数 (Autocare)	31,471	39,036	38,994	48,248	60,210	59,116	+69.2%	
	市況	AU 新車販売台数	312,757	317,527	317,494	304,452	327,960	294,834	△1.2%	
		AUD / JPY(円)	91.76	94.65	96.26	97.64	102.74	99.98	+9.5%	
ニュージーランド	個社	輸出台数（日貿全体）	15,750	19,607	16,039	13,641	11,094	8,621	△44.2%	・ 4～9月期のニュージーランド向け輸出台数は前年同期比44.2%減の19,715台と大きく落ち込んだ。政権交代に端を発する外部環境変化が主因である。同期間、市中の中古車輸入台数は3割強の減少に留まっており、当社グループの落ち込みはマクロを上回っている。これは環境規制の緩和策の影響をより強く受ける高品質な中古車の取り扱いが、当社は市中平均よりも多いことが背景にある。前年同期比で見ると為替はやや円安方向で、円貨換算業績に対してポジティブに寄与した。
		↳ニュージーランド（現地到着ベース）	14,973	17,983	11,346	10,107	11,315	6,502	△45.9%	
	市況	NZ 中古車輸入台数	32,629	33,346	25,688	25,956	25,496	18,434	△35.4%	
		NZD / JPY(円)	84.96	87.45	89.24	90.99	94.41	91.24	+8.2%	

注：オーストラリアの新車販売台数（市況）は「VFACTS (FEDERAL CHAMBER OF AUTOMOTIVE INDUSTRIES)」、ニュージーランドの中古車輸入台数は「自動車産業協会 (MIA)」を参照した。オーストラリアの販売及び輸送台数は、連続性をもった比較のため、買収前の各社KPIも合わせて表記している。

トピックス (1/3)

オーストラリア第2位の自動車物流企業 Autocare Servicesを買収、
独自成長に加え、AutopactやOzCarとの**シナジー創出**を図る



Autocare Services Pty Ltd

オーストラリアの大手自動車総合物流企業
全ての主要港地域に戦略的事業拠点を持つ

取得日	2024年5月1日
取得割合	100.0%
取得価額	AUD 40,855千(4,145,303千円)
売上高	17,079百万円(23/12期)
営業利益	2,249百万円(23/12期)
のれん償却額	612百万円/年(10年償却)

注：日本円換算額は1AUD=98.67円にて算出している。



- 日本の大手OEMメーカー数社からの輸入新車を、オーストラリア主要港から全国のディーラーに陸送する物流事業を中核に展開。
- 60年以上の事業実績があり、主要8港に戦略的拠点、240台以上のトレーラーを保有。
- オーストラリア全域をカバーする物流企業をグループに加えることで、グループ内シナジーを図る。

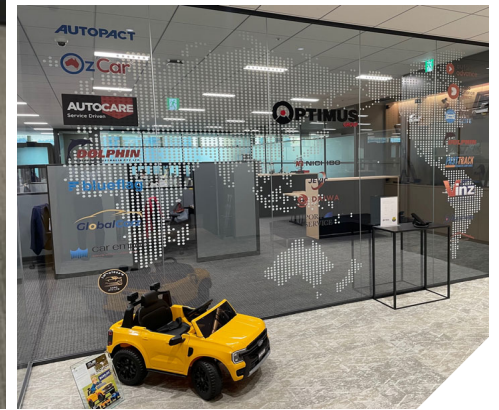
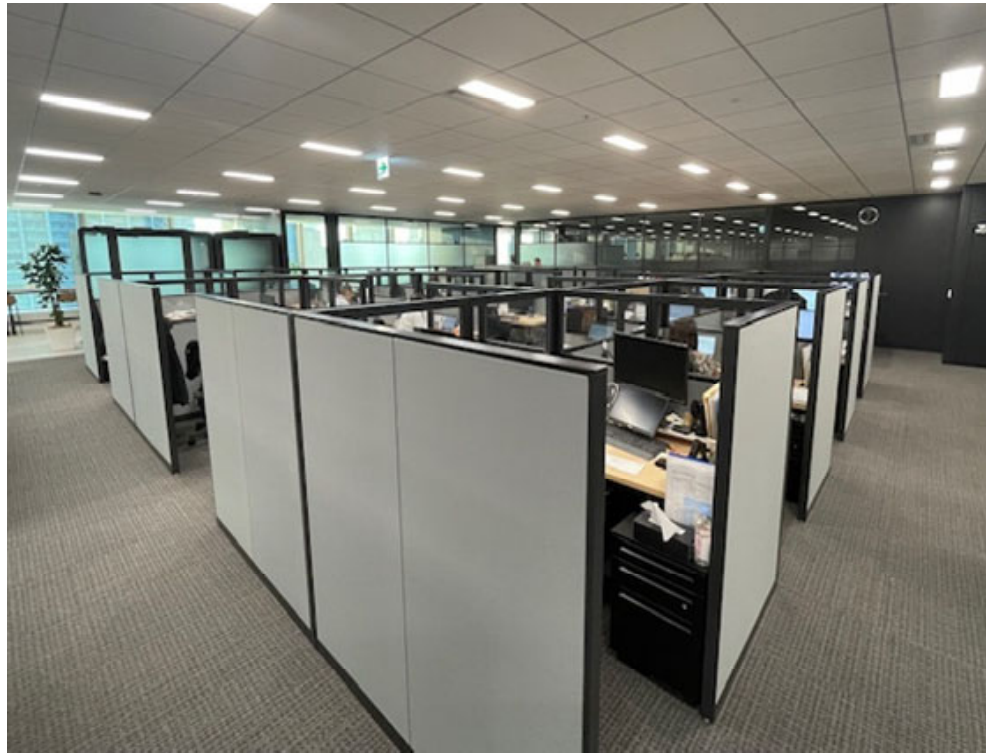
25/3期 第2四半期 全社業績

トピックス (2/3)

コーポレート機能の拡充を目的に、本社オフィスを移転

グループ本社

世界貿易センタービル南館15階（東京都港区浜松町）



トピックス (3/3)

M&Aによる事業規模拡大や投資家属性の変化を踏まえ、
IRやPRなどの**対外コミュニケーションを強化**

実施施策

- ・ 個人投資家説明会の開催（東京 / 名古屋 / 大阪）
- ・ 積極的な機関投資家向け1on1の実施（前年比倍増）
- ・ メディア向け広告出稿（日経等）
- ・ IR/PR部門の増員、体制強化

3都市で個人投資家向けの説明会を開催



「NZからアメリカへ」M&Aで急成長の中古車輸出オプティマスが描く夢と題する記事が、Forbes JAPANにて掲載される

<https://forbesjapan.com/articles/detail/73464>



25/3期 第2四半期 全社業績

損益計算書



損益計算書		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	24/3期				25/3期	
	(単位)	実績	実績	実績	実績	修正計画	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
AUD/JPY	円	76.21	83.05	92.66	95.06	下期 101.0	91.76	94.65	96.26	97.64	102.74	99.98
NZD/JPY	円	71.16	78.27	84.46	88.12	下期 91.0	84.96	87.45	89.24	90.99	94.41	91.24
売上高	百万円	24,920	45,539	54,953	123,934	296,000	17,267	21,515	21,584	63,568	70,913	64,347
(前年同期比)	%	-6.0	+82.7	+20.7	+125.5	+138.8	+3.7	+96.5	+62.7	+351.4	+310.7	+199.1
└AU2社 単純合算*	百万円	-	-	-	45,380	-	-	-	-	45,380	55,079	49,960
販売台数 (Autopact新車)	台	-	-	-	-	-	-	5,722	5,808	5,953	6,509	5,642
輸送台数 (Autocare)	台	-	-	-	-	-	-	206,976	203,346	196,465	205,733	177,282
└その他売上高*	百万円	-	-	-	78,554	-	-	-	-	18,188	15,834	14,387
販売台数 (輸出入)	台	30,584	45,290	44,260	65,037	-	15,750	19,607	16,039	13,641	11,094	8,621
└ニュージーランド	台	29,589	39,736	37,761	54,409	-	14,973	17,983	11,346	10,107	11,315	6,502
売上総利益	百万円	4,892	7,651	8,116	20,422	-	2,825	3,220	3,576	10,801	11,658	10,542
(売上総利益率)	%	19.6	16.8	14.8	16.5	-	16.4	15.0	16.6	17.0	16.4	16.4
販管費	百万円	4,027	4,578	5,152	13,533	-	1,571	1,679	1,995	8,288	9,136	9,099
人件費	百万円	2,080	2,386	2,605	6,473	-	718	731	723	4,301	4,911	4,725
外注費	百万円	888	1,112	1,061	2,368	-	427	459	703	780	692	596
減価償却費	百万円	184	193	309	1,257	-	82	83	89	1,002	993	920
のれん償却費	百万円	14	8	108	605	-	46	50	52	457	580	637
その他販管費	百万円	861	879	1,069	2,830	-	298	356	428	1,748	1,960	2,221
営業利益	百万円	865	3,072	2,963	6,889	9,400	1,255	1,541	1,581	2,512	2,522	1,442
(営業利益率)	%	3.5	6.7	5.4	5.6	3.2	7.3	7.2	7.3	4.0	3.6	2.2
当期純利益	百万円	953	2,544	2,334	3,107	-	627	867	740	873	1,881	△1,093
親会社株主利益	百万円	953	2,544	2,321	2,854	3,000	611	856	730	658	1,683	△1,161

注：売上高は、Autopact及びAutocareグループ単体の単純合算値と、その他収益（連結収益との逆算値）に2分している。



3

25/3期 通期業績予想の下方修正

サマリー

1. 25/3期は、期初計画に対し**売上高は△3.6%、営業利益は△8.7%下方修正**する。
2. 上期軟調だったニュージーランド市況は、**24年上半期に底打ち**、24年下期以降は回復基調を辿るとの見立てを修正予想に織り込んだ。ニュージーランドの中古輸入車は短期的な需要サイクルがあるものの、**中期的に見れば安定した需要**があり、26/3期以降は収益規模は十分に回復すると見ている。
3. UK/アイルランドをはじめとした欧州向けと比較して、ニュージーランド向けは検査/金融サービスなど**周辺事業を組み合わせた付加価値創出が豊富**なため、売上高以上に営業利益の落ち込みが大きい。逆に言えば、市況が回復すればトップライン増に連れて収益性の改善も進むと見込んでいる。

25/3期 通期業績予想の下方修正



通期業績予想の下方修正と、主な背景

売上高を期初計画比△3.6%、営業利益を同△8.7%下方修正

ニュージーランド市況は下期から徐々に回復見込む

項目 (百万円)	24/3期	25/3期					
	通期実績	期初計画	前期比	修正計画	前期比	期初計画差	期初計画比
売上高	123,934	307,000	+147.7%	296,000	+138.8%	△11,000	△3.6%
営業利益	6,889	10,300	+49.5%	9,400	+36.4%	△900	△8.7%
営業利益率	5.6%	3.4%	△2.2ppt	3.2%	△2.4ppt	△0.2ppt	△0.2ppt
経常利益	5,235	8,400	+60.5%	5,600	+7.0%	△2,800	△33.3%
親会社株主利益	2,854	4,500	+57.6%	3,000	+5.1%	△1,500	△33.3%
EPS(円)	50.89	79.83	+56.9%	45.57	△10.5%	△34.26	△43.0%
AUD / JPY(円)	95.06	97.0	+2.0%	下期 101.0	—	—	—
NZD / JPY(円)	88.12	90.0	+2.1%	下期 91.0	—	—	—

① 売上高の計画引き下げ

ニュージーランドの政権交代に端を発する外部環境変化を受けた、想定以上の輸出台数の減少

② 収益性の計画引き下げ

検査/サービスなども手掛け輸出
1台あたりの付加価値が高い
ニュージーランド向け比率低下

③ 前期比減少となるEPS

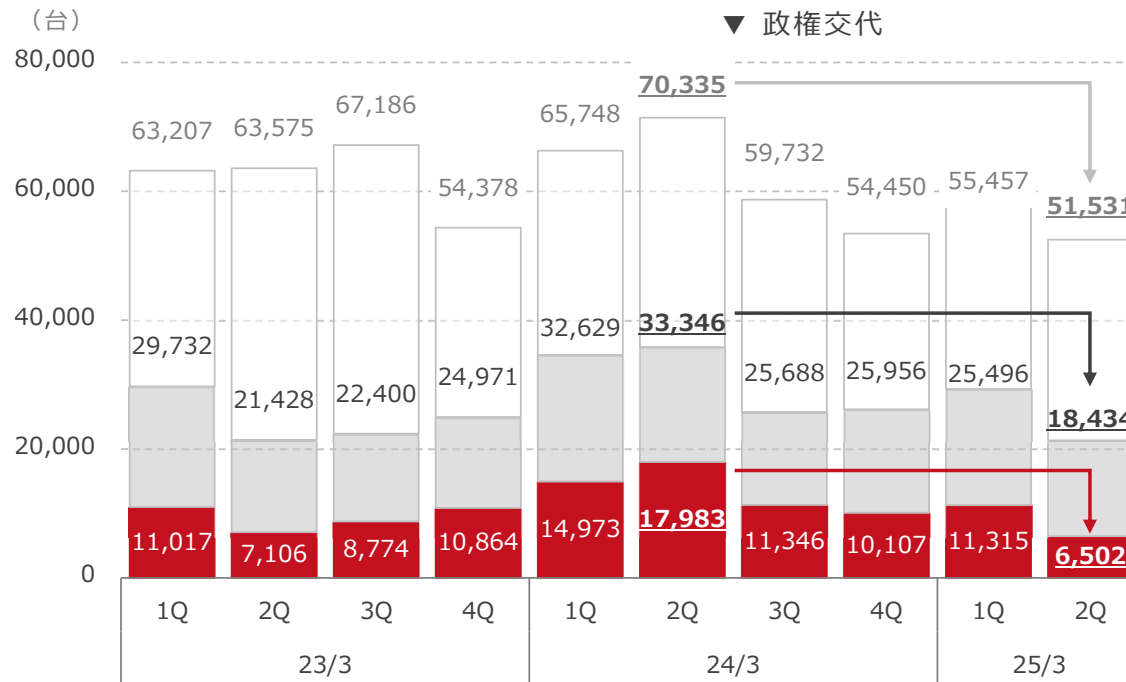
財務基盤の強化を目的に、24年
5～7月に実施した新株式発行に
伴う、株数増・希薄化影響

注：期初計画段階から、営業利益率の低下を見込んでいたが、これはニュージーランドの外部環境変化の影響を一定程度事前に見込んでいた上に、相対的に収益性の低いAutopact/Autocareの新規連携影響や、のれん償却費等固定費の積み増し等を計画に反映していたためである。

① ニュージーランドの外部環境（1/2）

政権交代以降、**景気後退による悪影響**により、輸入車台数が減少
特に**環境規制の緩和政策**を受け、主力の高品質中古車に大きな影響

○ ニュージーランドの輸入車数と当社実績



24年7-9月実績

輸入車計
（前年同期比）
△ **26.7%**

中古車計
（前年同期比）
△ **44.7%**

当社実績
（前年同期比）
△ **63.8%**

2023年10月に政権交代

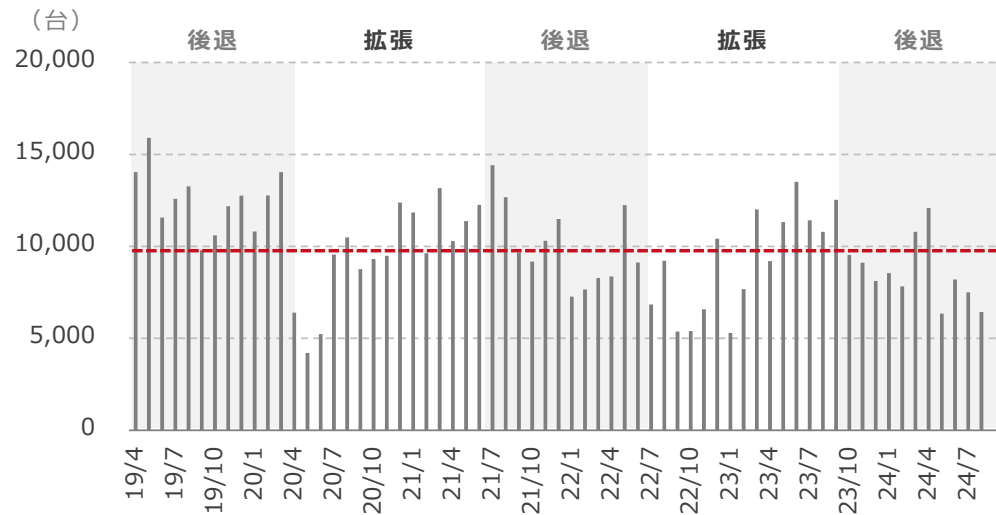
- 政権交代による景気後退により、新車を含む自動車輸入台数が一時的に減少している。
- 特に環境規制の緩和策の影響をより強く受ける高品質な中古車輸入台数の落ち込みが大きい。
- 高品質中古車を中心に事業展開する当社グループは、前政権が厳格推進した環境車普及策の恩恵を受けてきたが、政権交代で規制が緩和されたことで、マクロトレンド以上に悪影響を受けている。

注：ニュージーランド「自動車産業協会（MIA）」資料をもとに作成した。
中：9月統計は仮数値

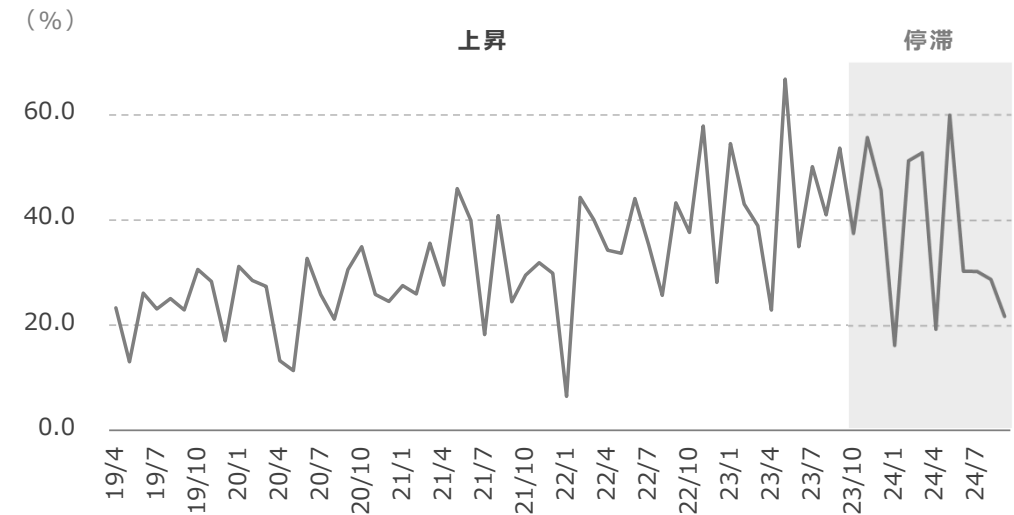
① ニュージーランドの外部環境（2/2）

中古輸入車には短期的な需要サイクルあるが**中期的には安定**、一定の回復を期待
当社シェアは足元軟調だが**業界首位は堅守**、長期的には更なる市場浸透へ

○ 中古輸入車の月次推移



○ 当社シェアの月次推移



外部環境に関する 当社の見立て

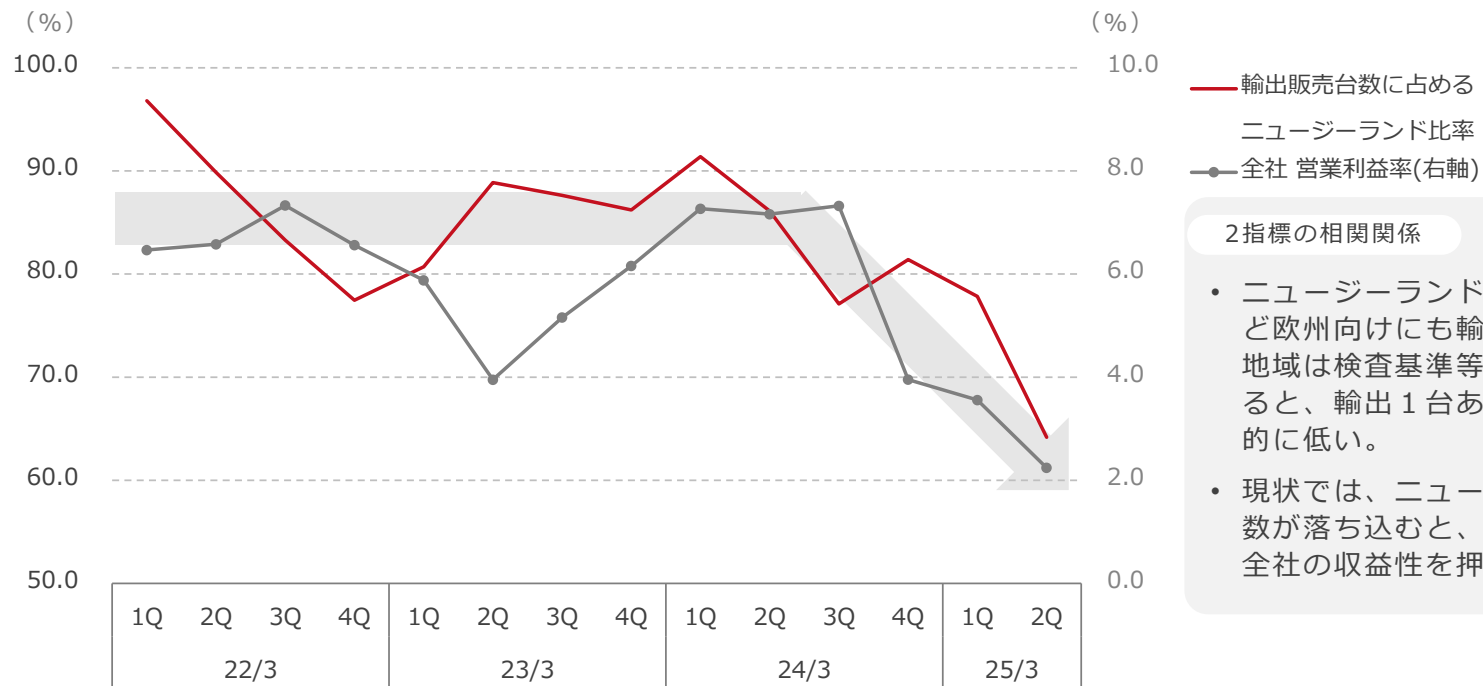
- ・ サイクルはあるが、中期的には月間1万台の安定した需要がある。今回の後退期は25年初頃まで継続し得るものの、その後の需要回復を見込む。
- ・ 当社シェアは環境規制の緩和政策を受けた車種ミックス変化で軟調も、中長期的には信頼蓄積を経たシェアアップの継続を推し進める。

注：ニュージーランド「自動車産業協会（MIA）」資料をもとに作成した。

② 当社の収益特性 (オーストラリア関連事業を除く)

バリューチェーンにより **1台当たりの付加価値が高いニュージーランド向け**の低迷は、全社の収益性に影響

○ 輸出版売台数に占めるニュージーランド向け比率と、全社営業利益率の推移



2指標の相関関係

- ニュージーランドの他、アイルランドなど欧州向けにも輸出しているが、これら地域は検査基準等が異なり、全社的に見ると、輸出1台あたりの付加価値が相対的に低い。
- 現状では、ニュージーランド向け輸出台数が落ち込むと、固定費負担増以上に、全社の収益性を押し下げる。

注：セグメント別 収益構成比は、小売・卸売り事業、その他事業及び全社消去を除く4セグメント合算値を分母に算出している。また、全社営業利益率は、トップラインのポリウムや季節性のある検査事業、相対低収益性な小売・卸売の構成比上昇など、上記以外の様々な要因により変動するため、ニュージーランド向け比率に連動した上下は、あくまで営業利益率が変動する1要素として、認識頂きたい。

③ 公募増資による財務基盤の強化

2024年5月に実施した公募増資等により**約71億円をエクイティ調達**、Autopact買収に係る借入金の一部返済に充当すると共に、**財務の健全化**に寄与

発行価格（募集価格）	1 株につき 635.00円
払込金額	1 株につき 605.52円
発行新株式数（第三者割当確定分を含む）	11,846,900株
増資前の発行済み株式総数	64,955,580株
増資後の発行済み株式総数	76,802,480株
エクイティ調達額	7,173百万円

財務健全性の状況		
	純資産比率	D/E ratio
24/3	14.2%	4.53倍
24/9	17.6% (※21.6%)	3.06倍 (※2.04倍)
※Autopactフロアプラン融資を考慮		
目標財務指標	30.0%	2.00倍

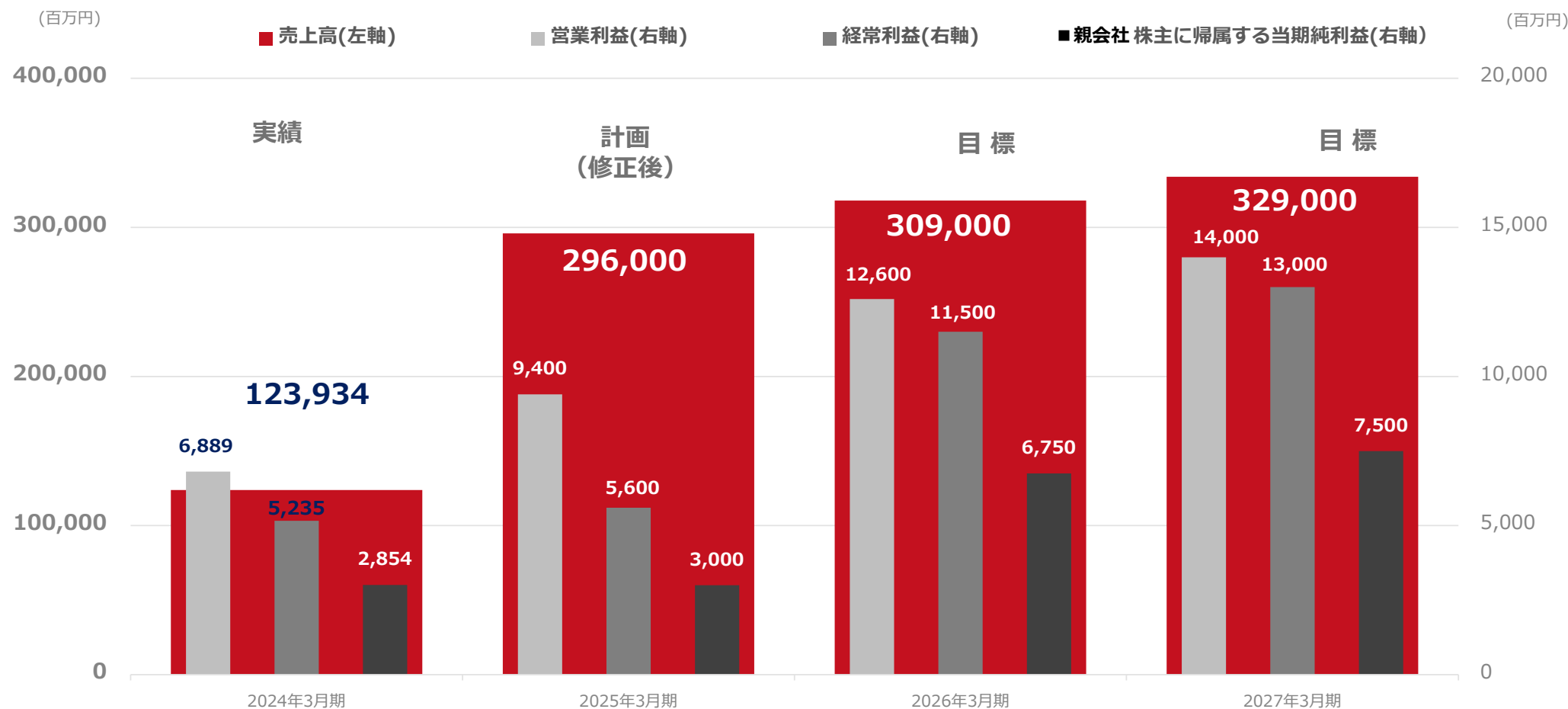


4 中期経営計画（26/3期以降は変更なし）

中期経営計画（変更なし）



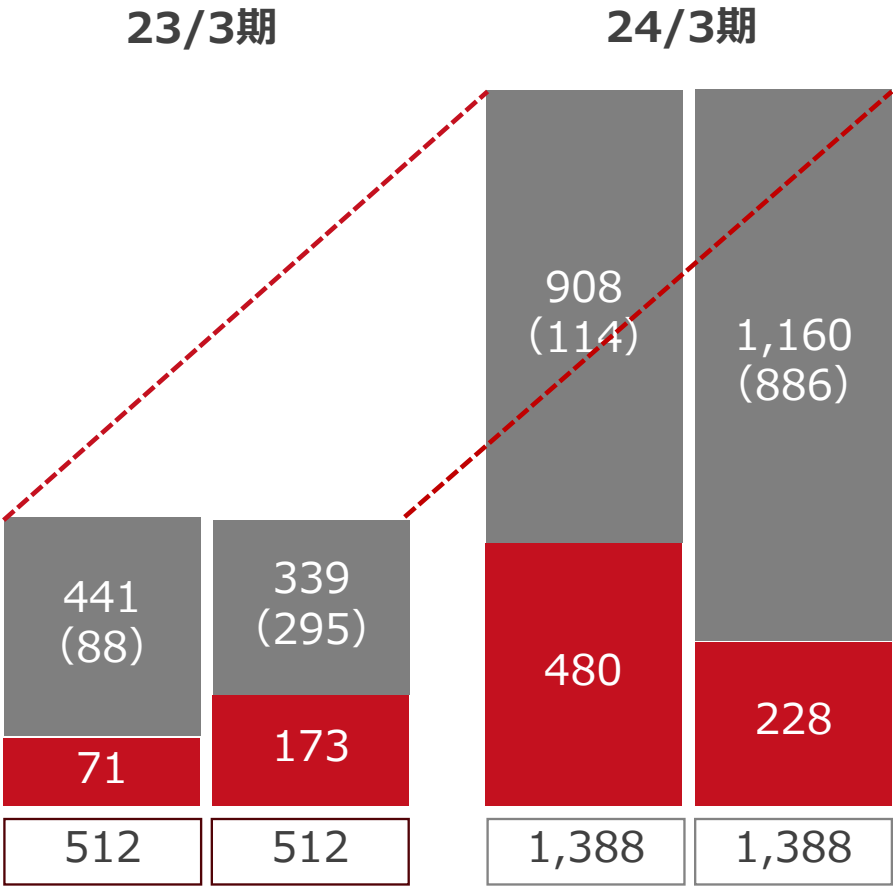
定量計画(2025年3月期～2027年3月期)



財務方針：連結貸借対照表推移



オートローン/流動資産	20.0%
Debt Equity Ratio	1.69
純資産比率	33.5%
ROE	14.7%
配当性向	31%



オートローン/流動資産	12.6%
Debt Equity Ratio	4.53
純資産比率	16.4%
ROE	15.0%
配当性向	未定

中期経営計画（変更なし）

財務方針：目標財務指標

ビジネスエリア拡大による**財務諸表の構造変化**を踏まえ、次期中計にて見直し予定

※24年4月公表済指標

Debt Equity

2 : 1

純資産比率

30%

ROE

15%以上

配当性向

30%

（事業用資産のリサイクル原資を除く）

オートローン債権/連結流動
資産

40%以下

経営戦略～経営計画（2025年3月期～2027年3月期）

チャレンジの継続：

- 既存事業の収益力強化
輸出型モデル（バリューチェーン）の強化
- 新規事業による成長
オーストラリアモデルの構築、新市場への足掛かり

経営資源の効率追求：

- 効率化追求による経営コストの削減
内外間接部門業務のシェアードサービス化推進、資金調達・運用の深化、人・システム・施設の統合や共有
- 事業発展を支える市場政策と人的資源の確保
中期的な事業戦略をしっかりと伝えるIR活動、グループ経営人材の育成



チャレンジの継続(セグメント別)

セグメント	主なチャレンジ
 輸出入	・ ニュージーランド市場シェアの維持・発展。 ・ オーストラリア・欧州等への展開による販売台数と利益の確保。 ・ オンライン自動車販売広告事業とのシナジー追求、エンドユーザー向け事業（B2C、C2C）の探求。
 物流	・ 新商材・新仕向地の開拓、物流手段の多様化によるグループ事業を支える物流の確保。 ・ 自社物流化の促進、現地物流・港湾ビジネスの拡充。
 サービス	・ オートローン事業の健全な拡大、サービス・機能の拡充やデータ事業等との連携による既存事業の収益力強化。 ・ エンドユーザー向け事業を含む新規事業の開拓。
 検査	・ 経営・生産効率化による検査量増加。新規事業の確立（植物検査事業の収益化）。 ・ 検査の品質とシェア回復による安定黒字化。 ・ オーストラリア検査事業への進出、新たな技術・検査手法の確立と収益化。
 小売・卸売	・ 日本からの輸入を起点とするバリューチェーン構築によるオーストラリア市場での販路拡大と増収増益。 ・ M&Aで取得した事業のPMI推進と同時に、既存事業とのシナジーによる収益増。



5

25/3期 第2四半期 セグメント別業績

サマリー

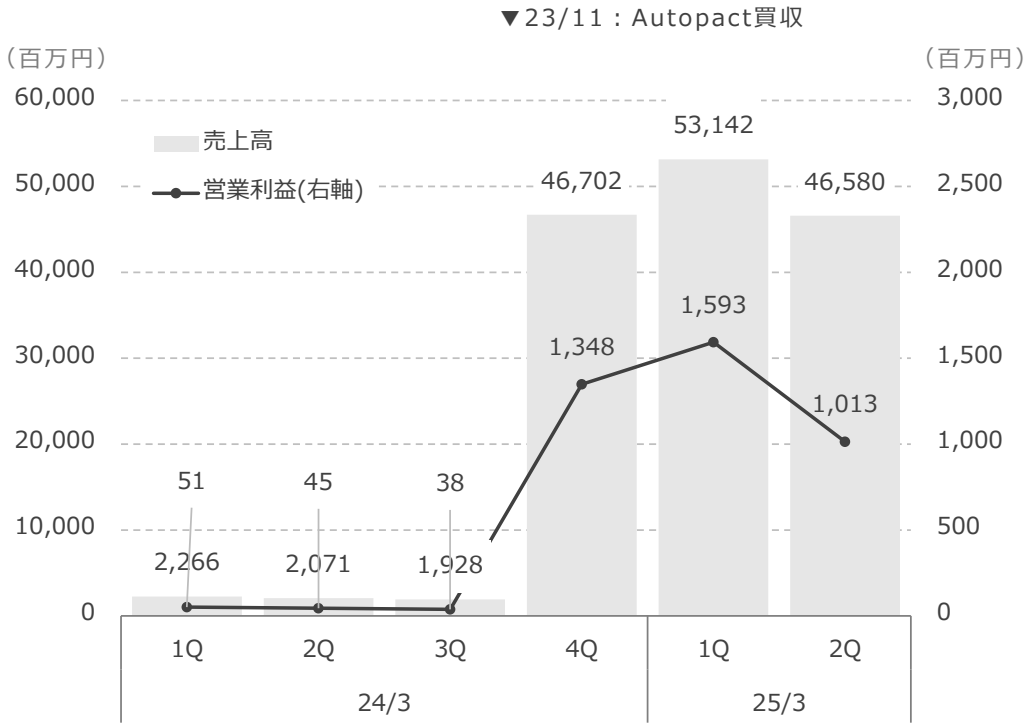
項目	売上高構成比	セグメント売上高(24年4～9月)		セグメント利益(24年4～9月)		ポイント
		実額(百万円)	前年同期比(%)	実額(百万円)	前年同期比(%)	
1.小売・卸売	72.2%	99,722	23.0倍	2,606	27.4倍	・ 24/3期第4四半期からのAutopact連結効果により、前年同期比大幅な増収増益となった。
2.輸出入	14.3%	19,807	△29.2%	377	△67.2%	・ 主力市場であるニュージーランドの市況低迷に因り同国向け輸出台数が67.2%減の5,532台、その他地域向けもウクライナ・中東の地政学的リスクによる海上輸送コスト増大により伸び悩み、前年同期比で大きく落ち込んだ。 ・ 10月には成約が回復し、市況回復の兆しが見え始めている。
3.物流	10.3%	14,168	+96.3%	1,213	+23.5%	・ 24年5月のAutocare連結化により前年同期比では大幅な増収増益となった。 ・ 日本からの輸出事業の低調に連動し、海上輸送では減収減益となっている。
4.サービス	1.5%	2,055	+41.1%	109	△63.2%	・ 25/3期上期は、Auto Traderの新規連結効果やストック収益のオーガニックな積み上がりから前年同期比、前四半期比共に増収を確保した。
5.検査	1.8%	2,422	△13.6%	△122	赤字転落	・ ニュージーランド向けの検査台数が大幅に減少したことを主因に、前年同期比で収益水準が下落した。

注：25/3期より新セグメント開示基準を適用している。前年同期比の算出に際し用いている24/3期のセグメント収益は、同様の基準でセグメント情報を訴求修正した値である。

小売・卸売セグメント

Autopactの新規連結効果から、セグメント収益は前年同期比で大幅増収増益。一方、前四半期比ではやや減収減益しているが、季節性影響が一因で過度な懸念は不要。

セグメント売上高と利益の四半期推移



増減率と背景

(百万円)	23年7～9月	24年7～9月	差分	前年同期比
売上高	2,071	46,580	+ 44,509	22.5倍
営業利益	45	1,013	+ 968	22.6倍
営業利益率	2.2%	2.2%	+ 0.0ppt	-

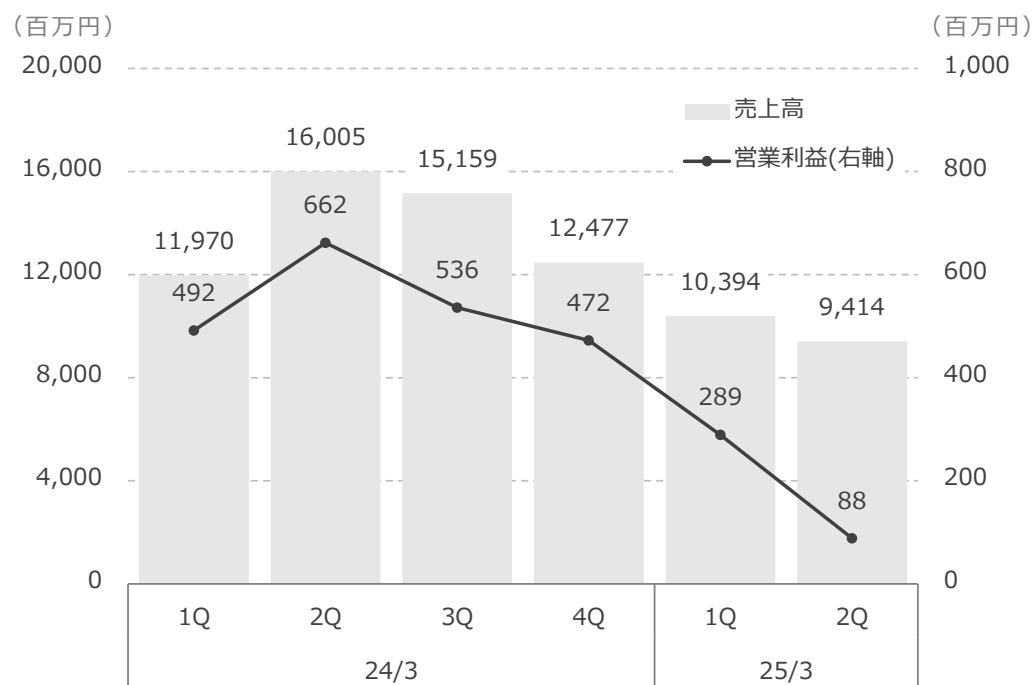
- セグメント収益の多くはオーストラリアで自動車ディーラー業務を手掛けるAutopactが占めている。また、ニュージーランドで輸入中古車の卸売販売を手掛けるTrade Carsも含まれている。
- 前年同期比では、24/3期 4 QからのAutopactの新規連結効果から大幅増収増益となった。
- 一方、前四半期比ではやや収益が減少した。自動車販売台数が、4～6月期の6,509台に対し7～9月期は5,642台と減少したことが主因である。但し、南半球の季節性から需要がピークアウトしたことが一因であり、大きな懸念は不要と考える。

注：25/3期より新セグメント開示基準を適用している。24/3期のセグメント収益は、同様の基準でセグメント情報を訴求修正した値である。

輸出入セグメント

ニュージーランドのマクロ環境変化を受け輸出台数が大幅に減少し、併せて収益性も低下した。10月は徐々に回復の兆しが見え始めているものの、状況を注視する必要あり。

○ セグメント売上高と利益の四半期推移



○ 増減率と背景

(百万円)	23年7～9月	24年7～9月	差分	前年同期比
売上高	16,005	9,414	△6,591	△41.2%
営業利益	662	88	△574	△86.6%
営業利益率	4.1%	0.9%	△3.2ppt	-

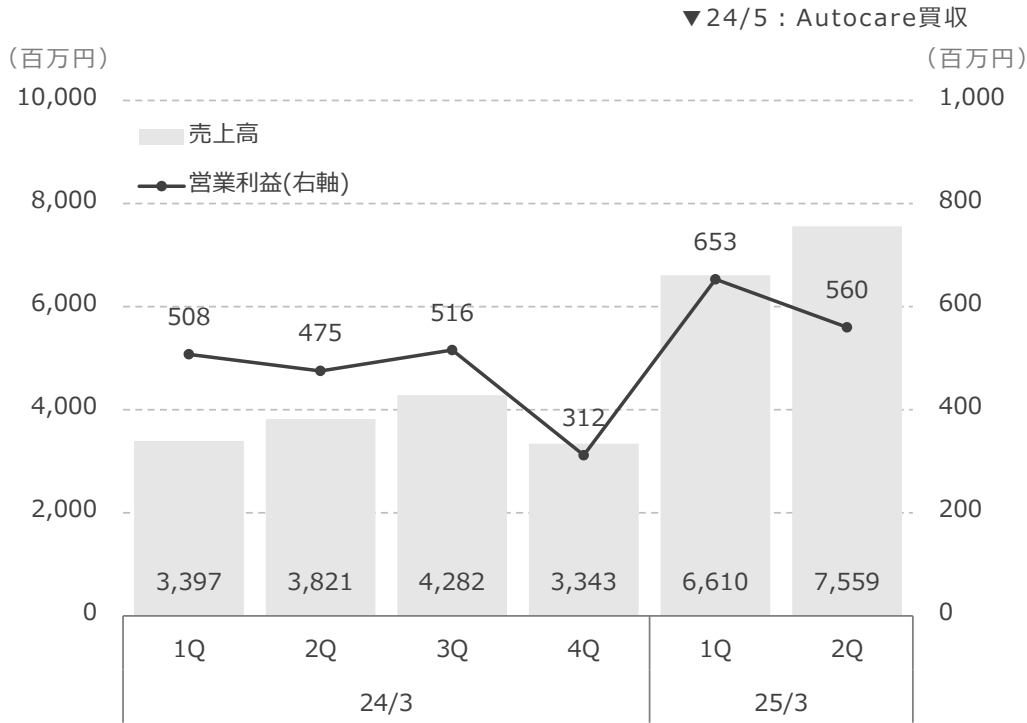
- 日本全国のオークション会場で仕入れた中古車を海外に輸出しており、平時は8～9割をニュージーランド向けが占める。また、アイルランドを始めとした欧州等にも事業を拡大している。
- 24年7～9月期は前年同期比で大幅減収減益となった。ニュージーランド向け輸出台数が同45.9%減の6,502台となったことを主因に、輸出全体でも同44.2%減と大きく落ち込んだ。また、限界利益の急減に伴い、収益性も大きく落ち込んだ。
- 24年10月は徐々に回復の兆しが見え始めているものの、本格回復には今少しの時を要すると見込む。

注：25/3期より新セグメント開示基準を適用している。24/3期のセグメント収益は、同様の基準でセグメント情報を訴求修正した値である。

物流セグメント

2024年5月に新規連結したAutocareが寄与し、増収増益を確保。
一方、中古車の海上輸送台数が大きく減少したことを主因に、営業利益は前四半期比で減益に転じた。

セグメント売上高と利益の四半期推移



増減率と背景

(百万円)	23年7～9月	24年7～9月	差分	前年同期比
売上高	3,821	7,559	+ 3,738	+ 97.8%
営業利益	475	560	+ 85	+ 17.8%
営業利益率	12.4%	7.4%	△5.0ppt	-

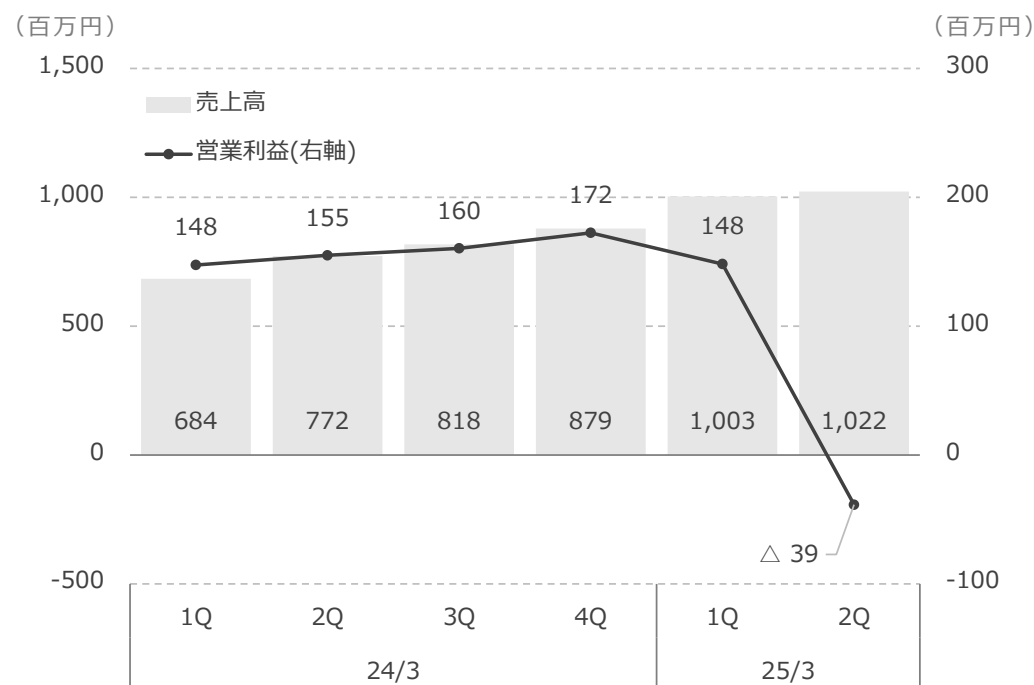
- 日本からの中古車輸出に係る海上輸送と、オーストラリアの自動車物流企業であるAutocareの2事業で収益の多くを占める。なお、当社グループで貿易を担う(株)日貿以外の中古車も取り扱う。
- Autocareは2024年5月1日付で新規連結効果を開始したため、前年同期比、前四半期比ともに大幅な増収増益を達成している。
- 24年7～9月期は売上高こそAutocareの1ヶ月追加取込で前四半期比増収を確保した一方、ニュージーランドの市況悪化で中古車の海上輸送台数が相応に減少したことで、セグメント利益では前四半期比で減益に転じた。

注：25/3期より新セグメント開示基準を適用している。24/3期のセグメント収益は、同様の基準でセグメント情報を訴求修正した値である。

サービスセグメント

- Auto Traderの新規連結効果などのオーガニックな積み上がりで増収を確保。ただし、主にAuto Trader 宣伝広告費によって、セグメント利益は赤字となった。

○ セグメント売上高と利益の四半期推移



○ 増減率と背景

	23年7～9月	24年7～9月	差分	前年同期比
売上高	772	1,022	+ 250	+ 32.3%
営業利益	155	△39	△194	赤字転落
営業利益率	20.1%	△3.8%	△23.9ppt	-

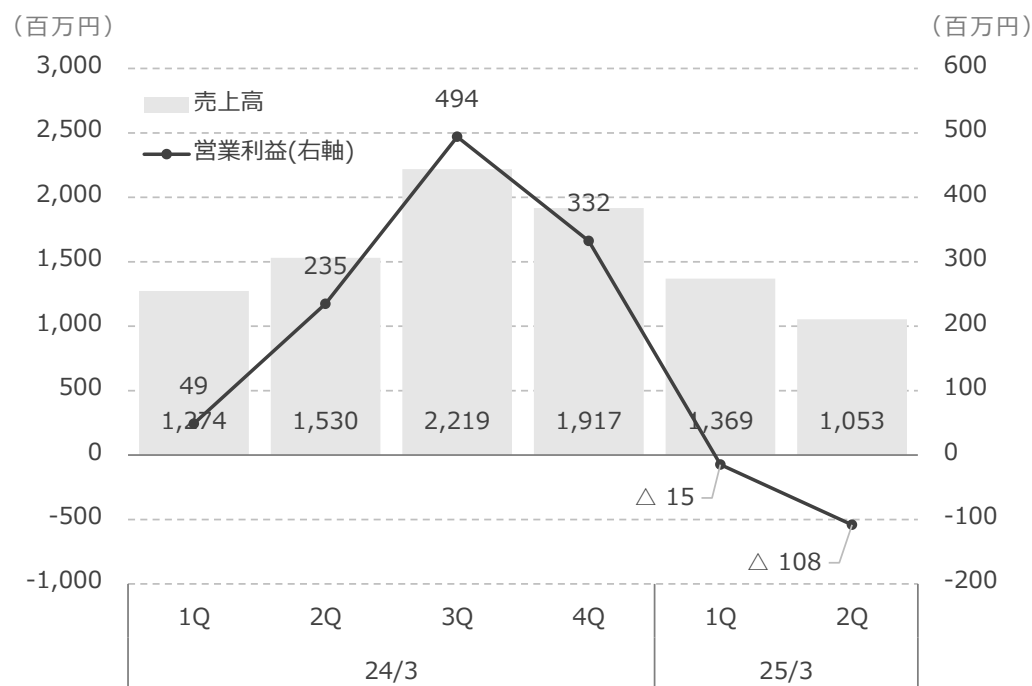
- ニュージーランドにおけるオートローンや保険、債権回収代行、自動車関連商品販売、及び中古車オンライン取引を手掛けるAuto Traderに係る収益を計上している。
- 25/3期上期は、Auto Traderの新規連結効果やストック収益のオーガニックな積み上がりから前年同期比、前四半期比共に増収を確保した。
- 一方、主にAutoTraderの事業拡大策としての宣伝広告費の影響で、セグメント営業利益は減となった。

注：25/3期より新セグメント開示基準を適用している。24/3期のセグメント収益は、同様の基準でセグメント情報を訴求修正した値である。

検査セグメント

前年同期比、前四半期比共に大幅な減収となり、セグメント利益は約1.1億円の赤字となった。ニュージーランド市況の悪化影響と季節性が主な要因。

○ セグメント売上高と利益の四半期推移



注：25/3期より新セグメント開示基準を適用している。24/3期のセグメント収益は、同様の基準でセグメント情報を訴求修正した値である。

○ 増減率と背景

	(百万円)	23年7～9月	24年7～9月	差分	前年同期比
売上高		1,530	1,053	△477	△31.2%
営業利益		235	△108	△343	赤字転落
営業利益率		15.3%	△10.3%	△25.6ppt	-

- 中古車輸出における日本側の輸出前検査、受入国側の輸入前検査、車検手続き他を主な収益源とする。なお、当社グループの日貿以外の中古車も取り扱う。
- 当社グループが特許を有するヒートトリートメントによる独自の害虫混入防止処理は、日本の冬以降に実施が急増する上、固定費負担が重い（限界利益率が高い）ため、収益の季節性が他と比較して大きなセグメントとなる。
- ニュージーランド向けの検査台数が大きく減少したことを主因に、前年同期比でも前四半期比でも収益水準が大きく下落。

セグメント情報



セグメント情報		24/3期	24/3期				25/3期	
(百万円,%)		実績	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
1 小売・卸売	売上高	52,967	2,265	2,071	1,928	46,701	53,142	46,580
	(前年同期比)	-	-	-	-	-	-	-
	外部顧客への売上高	52,959	2,264	2,068	1,925	46,701	53,141	46,573
	内部売上高/振替高	7	1	2	3	0	1	7
	営業利益	1,482	51	44	38	1,348	1,593	1,013
	(営業利益率)	2.8	2.3	2.2	2.0	2.9	3.0	2.2
2 輸出入	売上高	55,611	11,970	16,004	15,159	12,477	10,393	9,414
	(前年同期比)	-	-	-	-	-	-13.2	-41.1
	外部顧客への売上高	50,188	10,395	14,405	13,777	11,609	9,453	8,552
	内部売上高/振替高	5,423	1,574	1,599	1,381	868	940	862
	営業利益	2,161	491	661	536	472	289	88
	(営業利益率)	3.9	4.1	4.1	3.5	3.8	2.8	0.9
3 物流	売上高	14,842	3,396	3,821	4,282	3,342	6,609	7,559
	(前年同期比)	-	-	-	-	-	+94.6	+97.8
	外部顧客への売上高	12,337	2,918	3,143	3,347	2,927	6,172	7,308
	内部売上高/振替高	2,505	478	678	934	415	437	251
	営業利益	1,810	507	475	515	311	653	560
	(営業利益率)	12.2	14.9	12.4	12.0	9.3	9.9	7.4

連結業績							
売上高		123,934	17,266	21,515	21,583	63,567	70,913
営業利益		6,889	1,254	1,541	1,580	2,512	2,522

セグメント情報		24/3期	24/3期				25/3期	
(百万円,%)		実績	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
4 サービス	売上高	3,153	684	772	817	879	1,003	1,022
	(前年同期比)	-	-	-	-	-	+46.7	+32.3
	外部顧客への売上高	2,959	634	722	770	831	949	968
	内部売上高/振替高	194	49	50	47	47	54	54
	営業利益	635	147	155	160	172	148	-39
	(営業利益率)	20.2	21.6	20.1	19.6	19.6	14.8	-3.8
5 検査	売上高	6,940	1,274	1,530	2,219	1,916	1,369	1,053
	(前年同期比)	-	-	-	-	-	+7.5	-31.2
	外部顧客への売上高	5,138	972	1,087	1,672	1,406	1,099	851
	内部売上高/振替高	1,802	301	442	547	510	269	203
	営業利益	1,109	48	234	494	332	-14	-108
	(営業利益率)	16.0	3.8	15.3	22.3	17.3	-1.1	-10.3
6 その他	売上高	2,993	1,167	754	733	338	1,087	187
	(前年同期比)	-	-	-	-	-	-6.9	-75.2
	外部顧客への売上高	352	81	87	91	92	98	95
	内部売上高/振替高	2,640	1,086	666	642	245	989	93
	営業利益	1,142	777	348	206	-191	449	36
	(営業利益率)	-	-	-	-	-	-	-

全社消去他							
売上高		-12,574	-3,491	-3,439	-3,556	-2,087	-2,692
営業利益		-1,453	-769	-379	-370	66	-596

注：25/3期より新セグメント開示基準を適用している。24/3期のセグメント収益は、同様の基準でセグメント情報を訴求修正した値である。



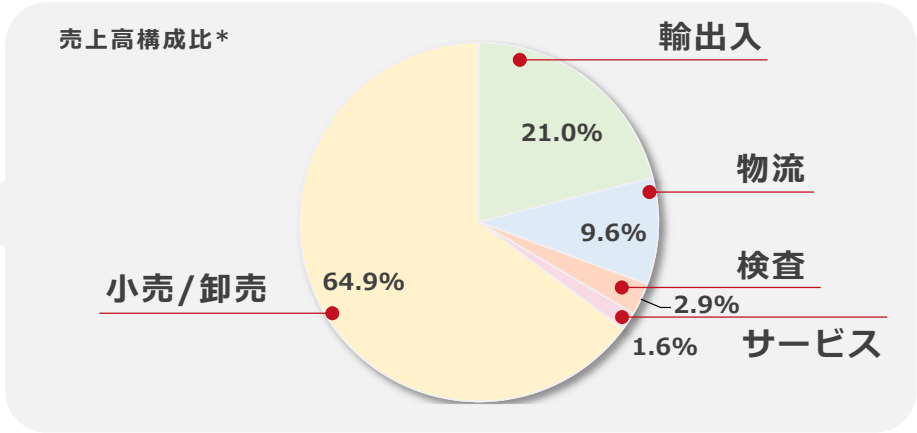
6 Appendix

会社概要

会社名	株式会社オプティマスグループ		
設 立	2015年1月		
資本金	40億6,500万円		
代表取締役社長	山中 信哉		
本 社	〒105-5115 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル 15階		
事業内容	グループ会社の経営管理及びそれに付随する業務 主たる事業：小売・卸売、輸出入、物流、サービス、検査その他		
連結子会社	52社（国内4社、海外48社）	2024年9月30日現在	
従業員数	単体：33名 連結：2,533名	2024年9月30日現在	



セグメント概況



- 輸出入** | 日本全国のオークション会場で中古車を仕入れ、ニュージーランドや欧州向けに輸出する。
- 物流** | 中古車を海外へ海上輸送する。また、豪州で陸送するAutocareの事業も含む。
- 検査** | 輸出入時の検査や清掃/整備を担う。害虫混入防止処理をはじめ独自技術を持つ。
- サービス** | 主にニュージーランドでオートローンや債権回収補助、自動車関連商品販売、中古車オンライン取引サイト等を営む。
- 小売/卸売** | オーストラリアの自動車ディーラーであるAuto pactの新車/中古車販売や関連事業が主力。

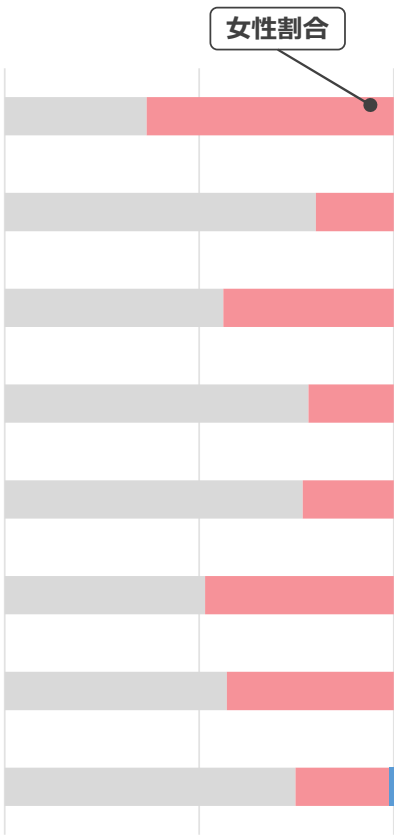
注：売上高構成比は、2023年10月～2024年9月の12ヶ月間の集計値である。なお、その他事業や全社調整額を除く単純合算値を分母とした集計値である点に注意されたい。

従業員の状況

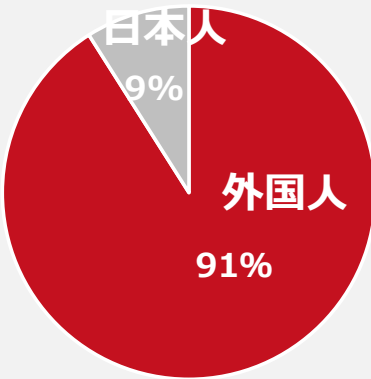


セグメント別*従業員数

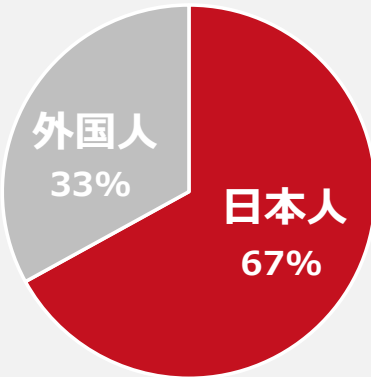
	従業員数（人）	女性割合（%）	女性管理職割合（%）
貿易	74	63.5	41.7
物流	524	20.0	24.5
サービス	48	43.8	33.3
検査	274	21.9	12.2
自動車小売 卸売	1,573	23.4	20.6
全社（共通）	33	48.5	16.7
その他	7	42.9	0
合計	2,533	24.5	20.9



外国人比率

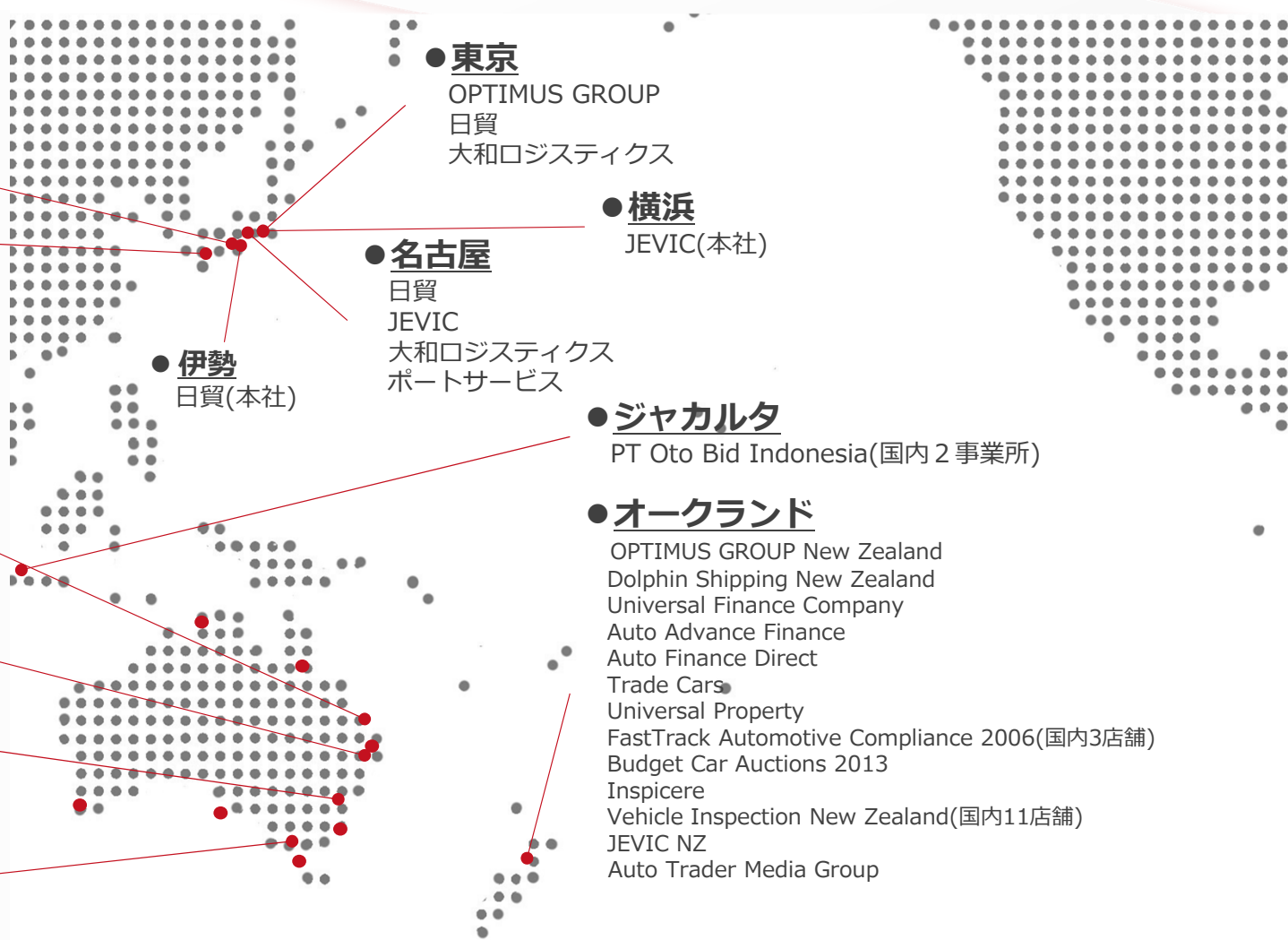


当社役員
外国人比率



注：2024年9月末時点の集計値である。

グループ会社一覧と所在地（2024年9月30日現在）



● **東京**
OPTIMUS GROUP
日貿
大和ロジスティクス

● **横浜**
JEVIC(本社)

● **名古屋**
日貿
JEVIC
大和ロジスティクス
ポートサービス

● **伊勢**
日貿(本社)

● **大阪**
日貿
JEVIC

● **北九州(門司)**
JEVIC

● **サンシャインコースト**
Autopact（国内110店舗）

● **ゴールドコースト**
Car Empire
IWholesaleCars

● **シドニー**
OPTIMUS GROUP Australia
Dolphin Shipping Australia
OzCar(国内22店舗)
Global Carz
Auto Advance Finance Australia
VITA Australia

● **メルボルン**
Autocare Services（+国内8拠点）
Blue Flag

● **ジャカルタ**
PT Oto Bid Indonesia(国内2事業所)

● **オークランド**
OPTIMUS GROUP New Zealand
Dolphin Shipping New Zealand
Universal Finance Company
Auto Advance Finance
Auto Finance Direct
Trade Cars
Universal Property
FastTrack Automotive Compliance 2006(国内3店舗)
Budget Car Auctions 2013
Inspicere
Vehicle Inspection New Zealand(国内11店舗)
JEVIC NZ
Auto Trader Media Group

M&A実績 | AUTOPACT PTY LTD (1/2)



AUTOPACT PTY LTD

オーストラリアの大手新車ディーラーグループ
同国第3位のマーケットシェアを確保

取得日	2023年11月24日
取得割合	91.7% (2024/10/29に追加取得し99.9%保有に上昇)
取得価額	AUD 270,563千(25,744,120千円)
売上高	159,911百万円 (23/6期)
営業利益	7,445百万円 (23/6期)
親会社株主利益	3,240百万円 (23/6期)
のれん償却額	1,680百万円/年 (13年償却)

注：日本円換算額は1AUD=95.15円にて算出している。



- 1995年に前身の企業が設立されて以降、同業M&A等により拡大。クイーンズランド州、ニューサウスウェールズ州、ビクトリア州で計110拠点を展開する、28のディーラーが集ったグループ。
- 計35のグローバルOEMブランドを取り扱い、グループ全体で年間約2.4万台の新車／中古車を販売。また保険やオートローン、部品/カーアクセサリー販売、車検/修理など幅広いサービスを提供。
- 同国の新車販売事業は7割強が中小事業者、ロールアップによる成長余地が大きい。
- グループ内の中古車事業者Ozcarとの連携により、中古車事業に成長ポテンシャルあり。

M&A実績 | AUTOPACT PTY LTD (2/2)

Autopact取扱い主要OEMブランド

乗用車

日本



米国



欧州



中国



韓国



商用車



BMW
MOTORRAD



FUSO



M&A実績 | Autocare Services Pty Ltd



Autocare Services Pty Ltd

オーストラリアの大手自動車総合物流企業
全ての主要港に戦略的拠点を持つ

取得日	2024年5月1日
取得割合	100.0%
取得価額	AUD 40,855千(4,145,303千円)
売上高	17,079百万円 (23/12期)
営業利益	2,249百万円 (23/12期)
のれん償却額	612百万円/年 (10年償却)

注：日本円換算額は1AUD=98.67円にて算出している。



- 日本の大手OEMメーカー等複数の輸入新車をオーストラリア主要港で受け取り、全国の自動車ディーラーへ陸送。
- 60年以上の事業実績があり、主要8港に戦略的拠点、240台以上のトレーラーを保有。
- 取扱ブランドの更なる拡充を通じた数量増・スケールメリットの獲得、及びコスト競争力の強化が主な成長戦略。
- オーストラリア全域をカバーする物流企業をグループに加えることで、グループ内シナジーの創出を図る。

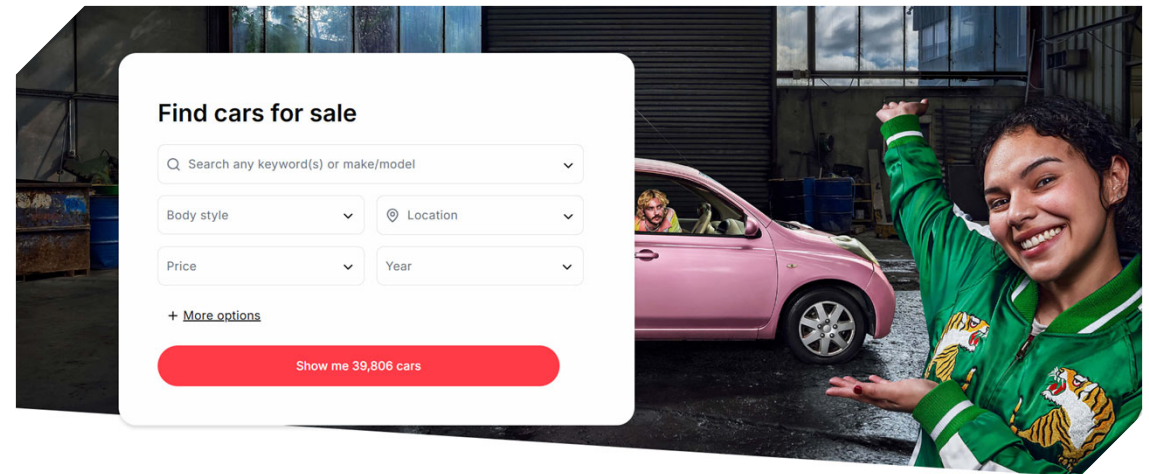
M&A実績 | Auto Trader Media Group Ltd.



Auto Trader Media Group Ltd.

ニュージーランドにて 自動車取引のオンラインサイトを運営

取得日	2023年12月1日
取得割合	51.0%
取得価額	-
売上高	-
営業利益	-
のれん償却額	45百万円/年（9年償却）



- 1981年に創業した中古車の個人間売買のためのオンラインサイトであり、月約30,000台の中古車が売買されるニュージーランドにおいて、月25万人以上のユーザーが利用する。
- 当社グループが長年にわたり蓄積してきたニュージーランド向け中古車輸出とのシナジー創出を期待。

25/3期 全社業績 計画比較

損益計算書 年間計画増減

	期首計画			上半期実績＋下半期見直し計画			増 減		
	上半期	下半期	年 間	上半期	下半期	年 間	上半期	下半期	年 間
輸出台数/ニュージーランド向け	24,805	22,800	47,605	14,167	22,006	36,173	▲ 10,638	▲ 794	▲ 11,432
輸出台数/その他地域向け	9,200	10,300	19,500	5,548	8,279	13,827	▲ 3,652	▲ 2,021	▲ 5,673
輸出台数 合計	34,005	33,100	67,105	19,715	30,285	50,000	▲ 14,290	▲ 2,815	▲ 17,105
売上高	149,000	158,000	307,000	135,259	160,741	296,000	▲ 13,741	2,741	▲ 11,000
売上総利益	22,800	24,200	47,000	22,199		46,400	▲ 601	▲ 24,200	▲ 600
広告宣伝(AutoTrader他)				▲ 265	▲ 85	▲ 350	▲ 265	▲ 85	▲ 350
株式・IFAS等 増加分				▲ 53	▲ 66	▲ 119	▲ 53	▲ 66	▲ 119
Autopact資本リストラ関連				▲ 33	▲ 125	▲ 158	▲ 33	▲ 125	▲ 158
のれん償却	▲ 988	▲ 987	▲ 1,975	▲ 1,217	▲ 1,218	▲ 2,435	▲ 229	▲ 231	▲ 460
営業利益	5,000	5,300	10,300	3,964	5,436	9,400	▲ 1,036	136	▲ 900
支払利息OPT	▲ 349	▲ 270	▲ 619	▲ 330	▲ 250	▲ 580	19	20	39
支払利息AP	▲ 784	▲ 877	▲ 1,661	▲ 1,088	▲ 1,088	▲ 2,176	▲ 304	▲ 211	▲ 515
経常利益	3,900	4,500	8,400	1,697	3,903	5,600	▲ 2,203	▲ 597	▲ 2,800
当期純利益	2,300	3,400	5,700	788	2,912	3,700	▲ 1,512	▲ 488	▲ 2,000
親会社株主利益	1,700	2,800	4,500	522	2,478	3,000	▲ 1,178	▲ 322	▲ 1,500
配当/株	11	13	24	8	10	18	▲ 3	▲ 3	▲ 6
配当性向			36%			41%			

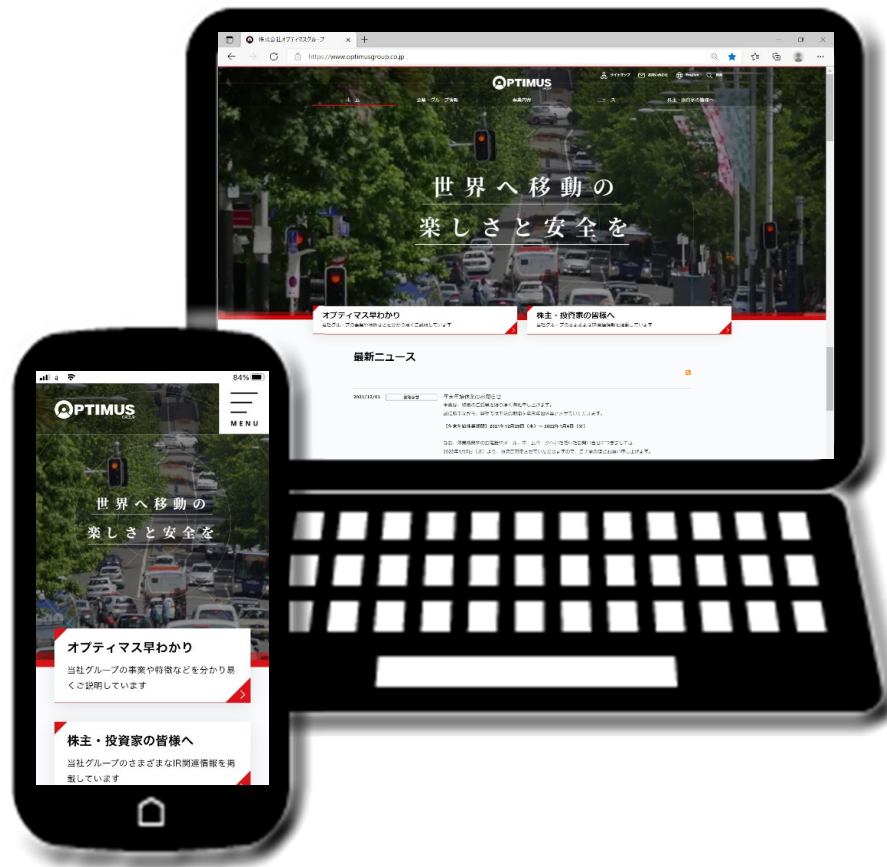
貸借対照表 分析

24/3				24/9			
DR		CR		DR		CR	
現預金	16,229	買掛金	3,068	現預金	13,948	買掛金	3,039
売掛金	21,757	借入金	88,613	売掛金	18,605	借入金	83,348
日貿	11,964	OPT	54,084	日貿	8,120	OPT	41,566
Autopact	4,407	Autopact	28,354	Autopact	4,704	Autopact	30,376
		AFD	4,162	Autocare	2,000	AFD	4,812
販売金融債権	11,434	リース債務	13,503	販売金融債権	12,015	リース債務	28,199
棚卸資産	33,171	Autopact	12,764	棚卸資産	33,766	Autopact	16,144
日貿	3,747			日貿	4,737	Autocare	11,397
Autopact	27,781			Autopact	27,860		
その他	8,120	その他	9,269	その他	8,448	その他	10,066
流動資産 計	90,711	負債 計	114,453	流動資産 計	86,782	負債 計	124,652
有形固定資産	19,631			有形固定資産	35,541		
Autopact	16,231			Autopact	18,602		
				Autocare	13,458		
無形固定資産	25,603			無形固定資産	30,150		
投資その他	1,631	被支配持分	3,655	投資その他	1,733	被支配持分	2,351
固定資産 計	46,867	純資産	23,125	固定資産 計	67,426	純資産	29,556
総資産	137,578	負債・純資産計	137,578	総資産	154,208	負債・純資産計	154,208
		自己資本比率	14.2%			自己資本比率	17.6%
		調整後	17.7%			調整後	21.5%

Note①DER(Debt Equity Ratio)=有利子負債（借入金。リース債務は含まない） / 自己資本

②調整後DER：上記有利子負債より、Autopactにおける車両調達債務を除いて計算。

③調整後自己資本比率：総資産額より、Autopactにおける車両調達債務を除いた金額を母数として計算。



株主・投資家の皆様に当社の情報を発信しております。

今後も内容を充実してまいりますので、ぜひご覧ください。

<https://www.optimusgroup.co.jp/>

■主要コンテンツ

- 企業・グループ情報
- 事業内容
- ニュース
- 株主・投資家の皆様へ
- オプティマス早わかり
- サステナビリティ

ディスクレーマー

○ 本資料お取扱い上のご注意

- ✓ 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を通して、当社をご理解いただくために作成されたものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- ✓ 本資料に記載された将来の業績に関する記載は、当社が将来の業績を保証するものではなく、現時点において入手可能な期待・見積・予想および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を有しております。
- ✓ 将来の業績は、経済情勢などの当社の経営環境、事業環境の変化等により予告なく変更することがございます。予めご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

総務・IRユニット

Mail:info@optimusgroup.co.jp

Tel:03-6370-9268 (IR直通)

